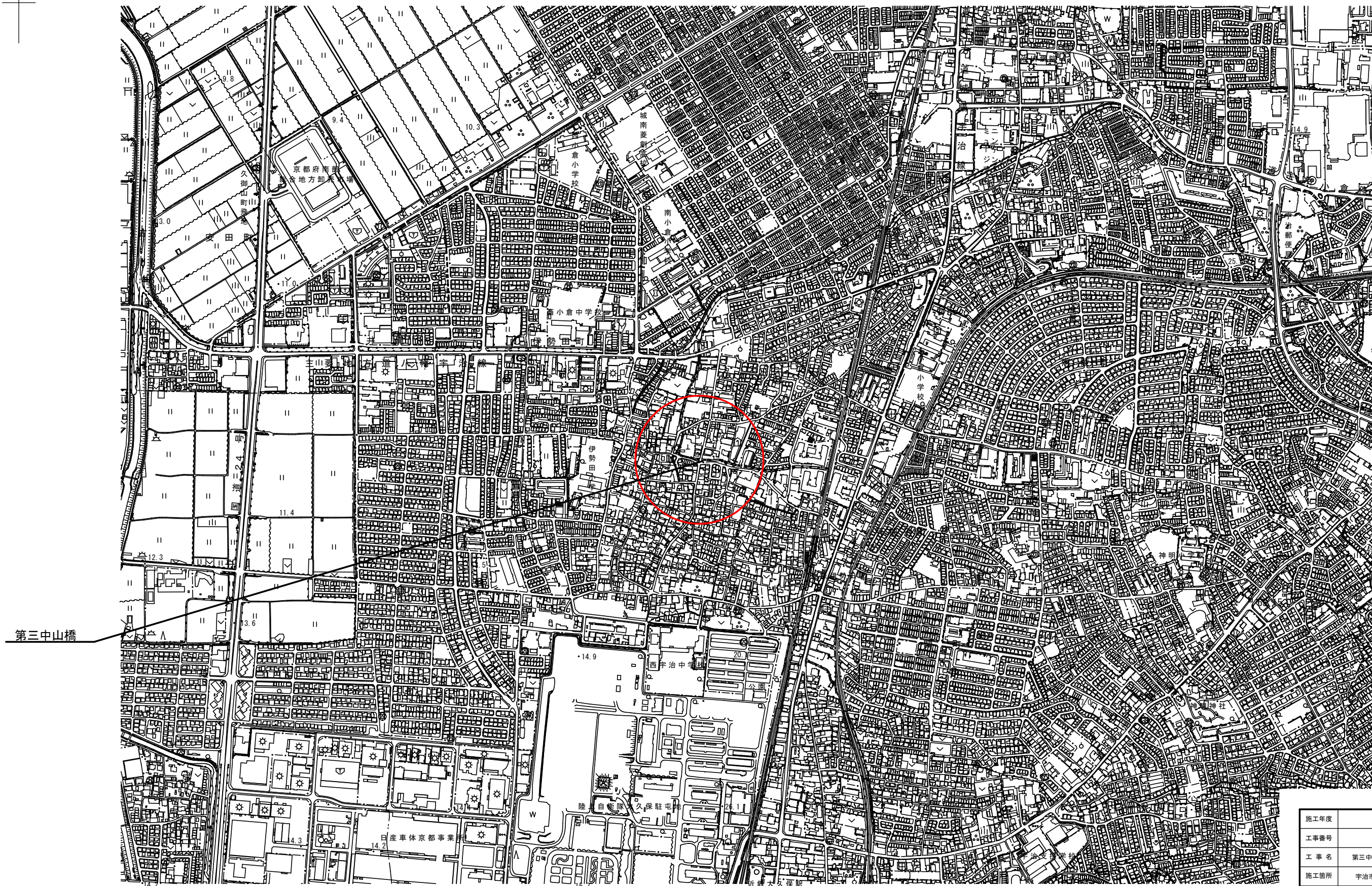
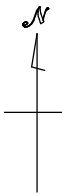


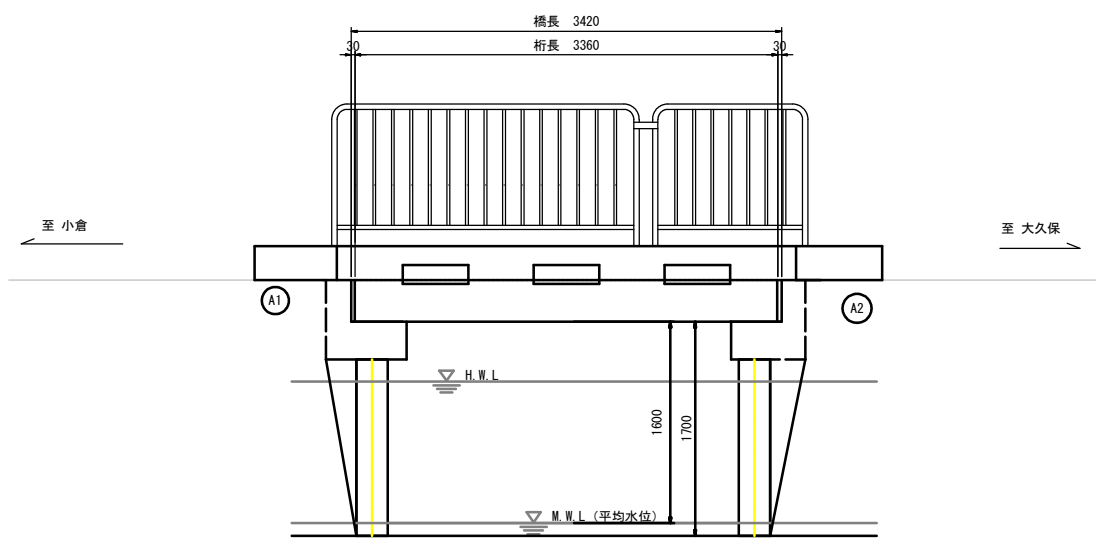
位置図 S=1:5,000



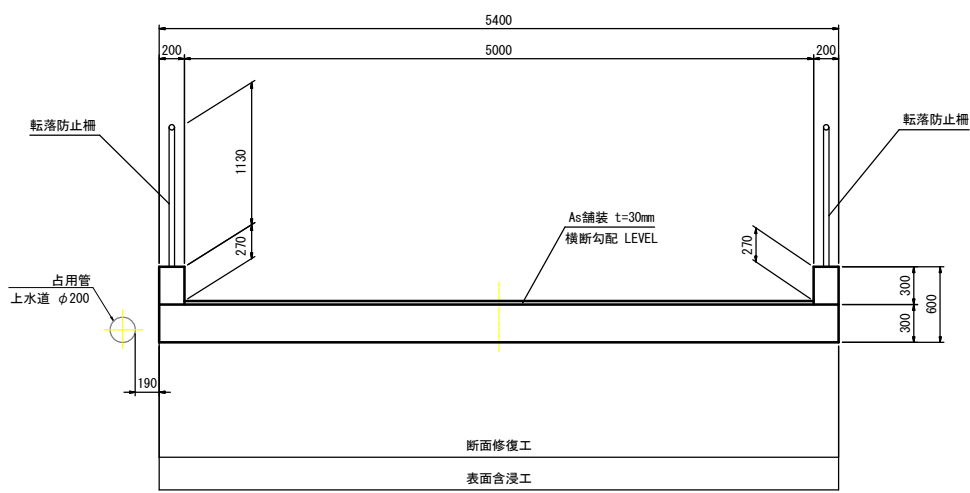
施工年度	令和8年度
工事番号	保補8-1
工事名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	位置図
縮尺	S=1:5000
図面番号	15 葉之内 1

現況一般図 S=1:30

側面図

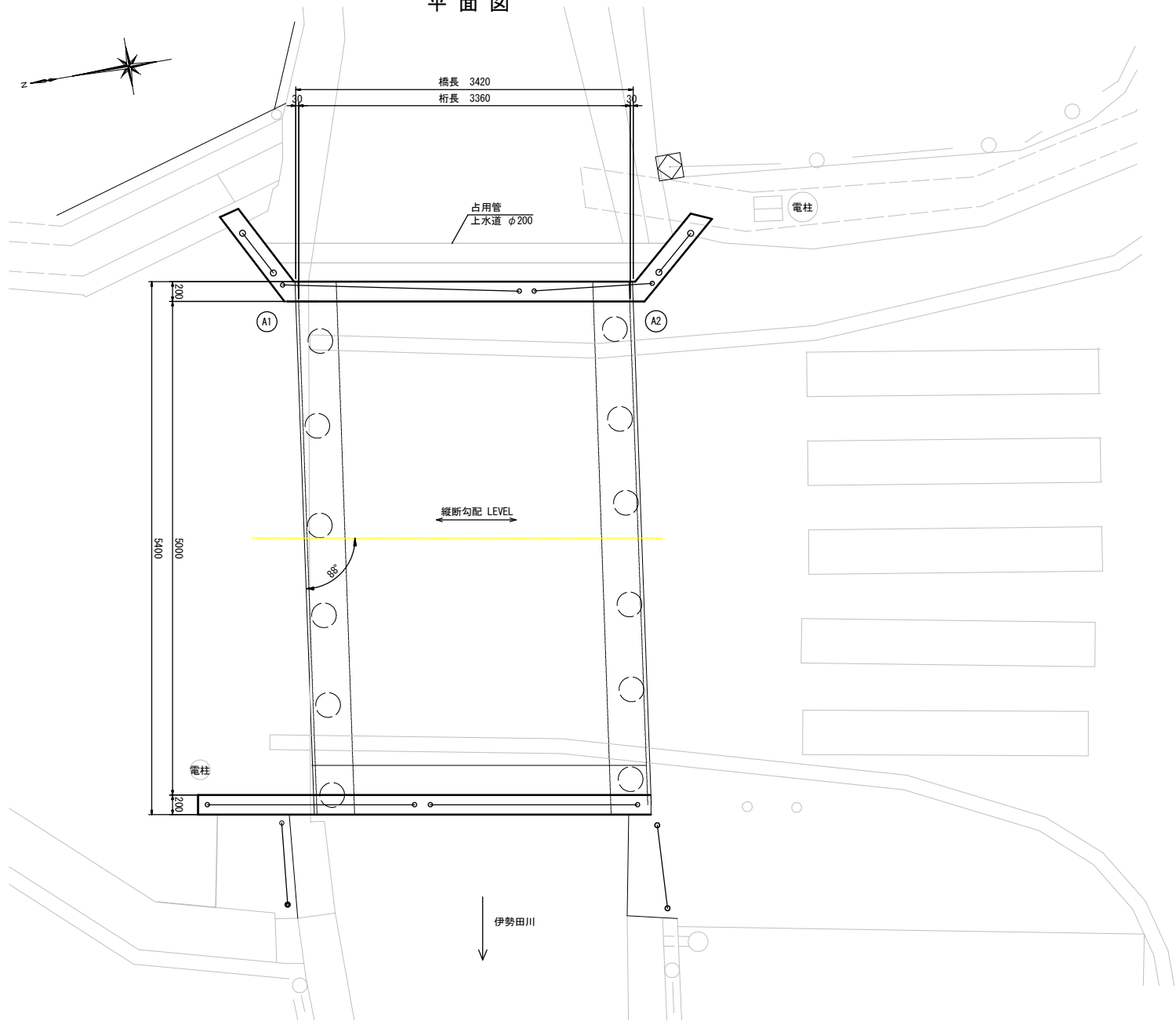


上部工断面図

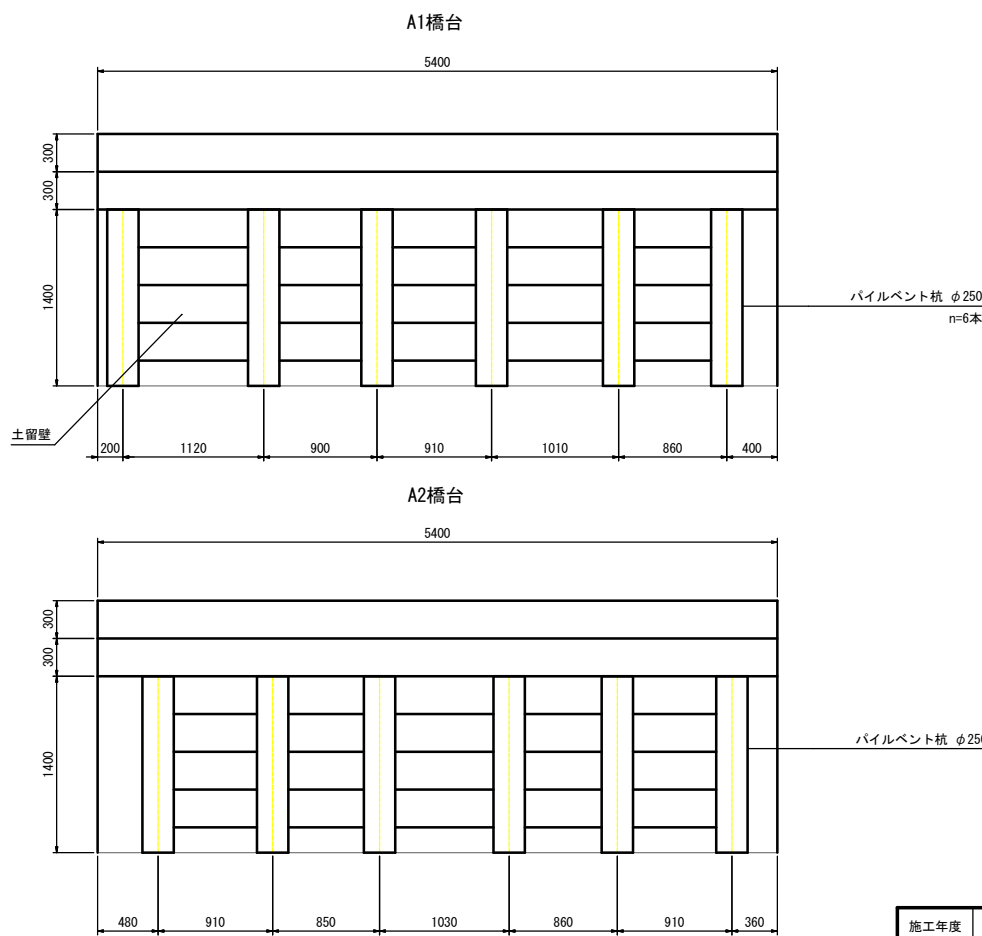


橋 梁 諸 元	
橋梁形式	RC単純床版橋
適用示方書	-
設計荷重	不明
橋 長	3.420 m
桁 長	3.360 m
全 幅 員	5.400 m
有効幅員	5.000 m
下部工形式	パイルベント式橋台
基礎形式	杭基礎
竣工年月	1956年(67年)【推定】

平面図



下部工正面図

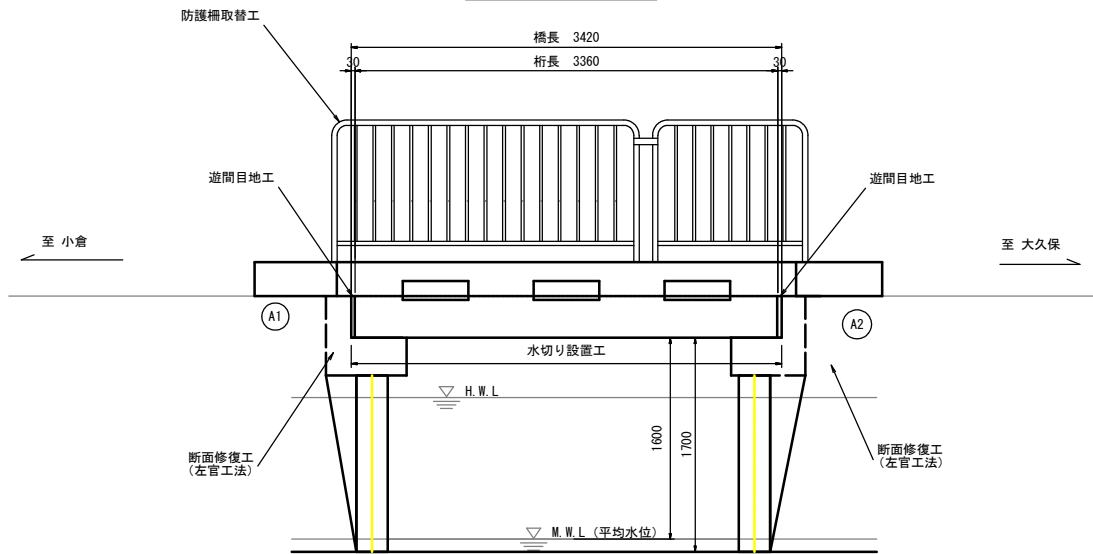


注) 本図は現地計測結果に基づき、竣工図面を再現したものである。

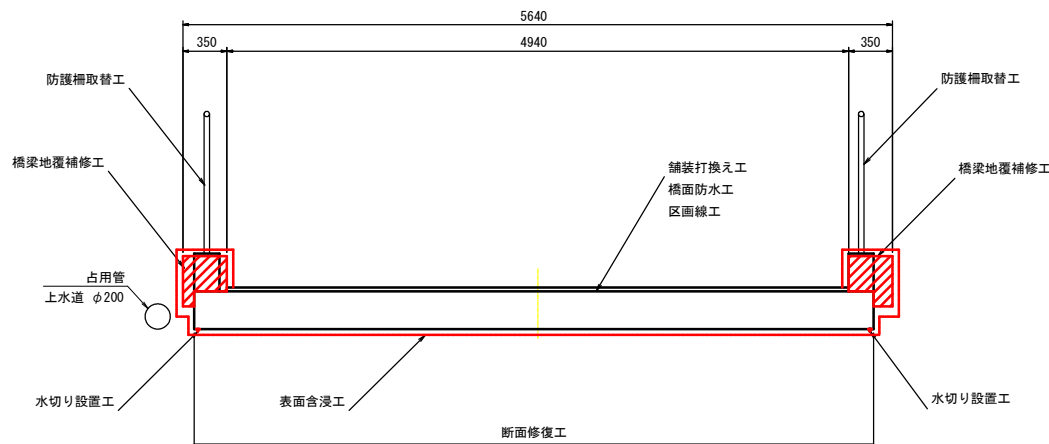
施工年度	令和8年度
工事番号	保繕8-1
工 事 名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	現況一般図
縮 尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 2

補修一般図 S=1:30

側面図

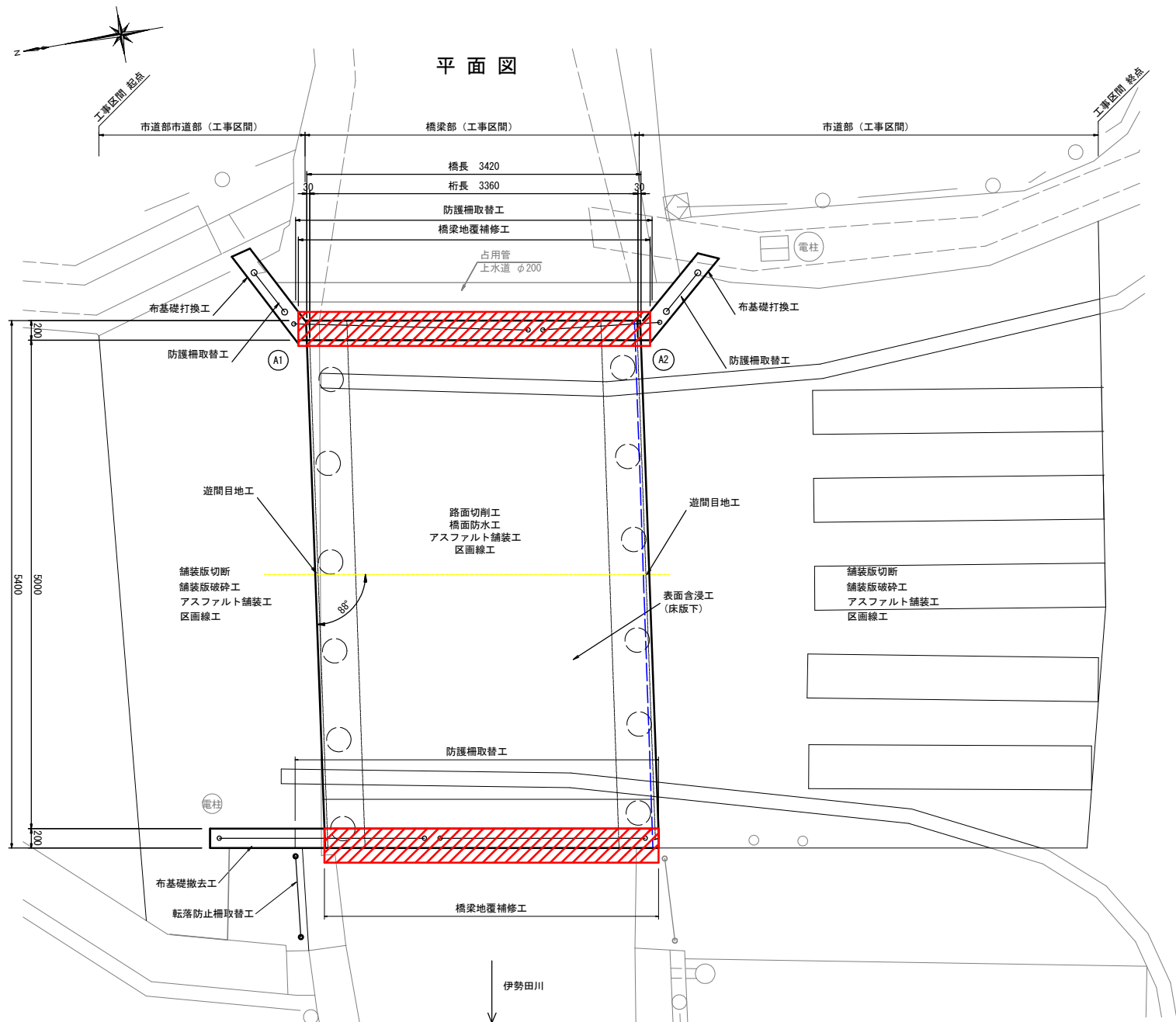


上部工断面図

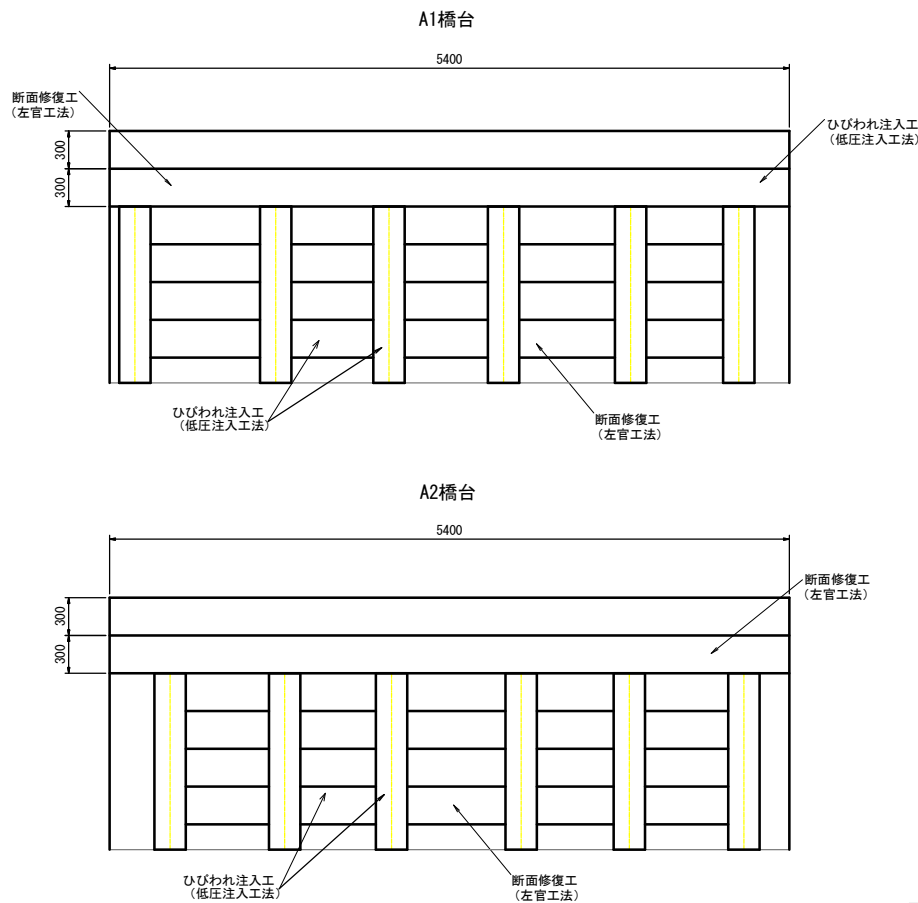


補修項目	
工 種	内 容
断面修復工	左官工法 (床版、橋台梁部、橋台土止壁)
ひびわれ注入工	低圧注入工法 (橋台梁部、パイルベント)
コンクリート表面保護工	シラン系表面含浸工法 (床版、地覆)
水切り設置工	水切 (床版下)
舗装打換え工	舗装版切断工 路面切削工 舗装版破碎工 アスファルト舗装工
橋面防水工	塗膜系防水層 (As加熱型)
区画線工	熔融式区画線
遊間目地工	アスファルト加熱型注入材
橋梁地覆補修工	地覆拡幅
防護柵取替工	転落防止柵撤去、橋梁用高欄設置
転落防止柵取替工	車止め撤去 布基礎打換 転落防止柵撤去・設置

平面図



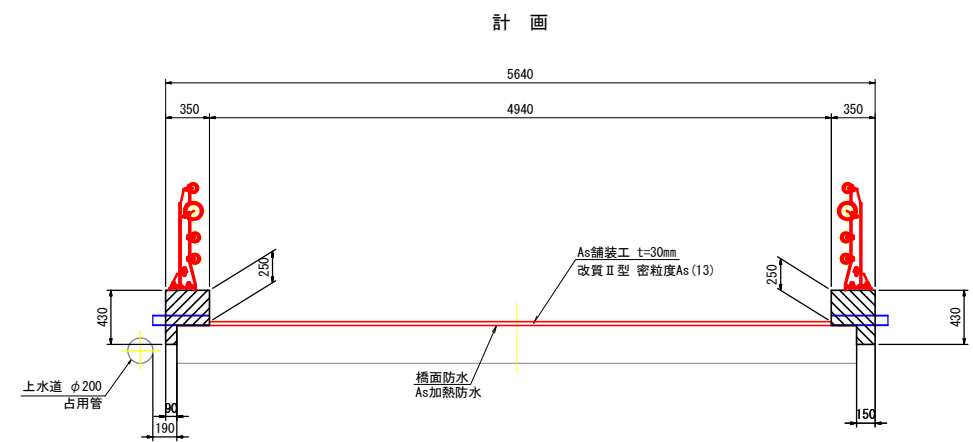
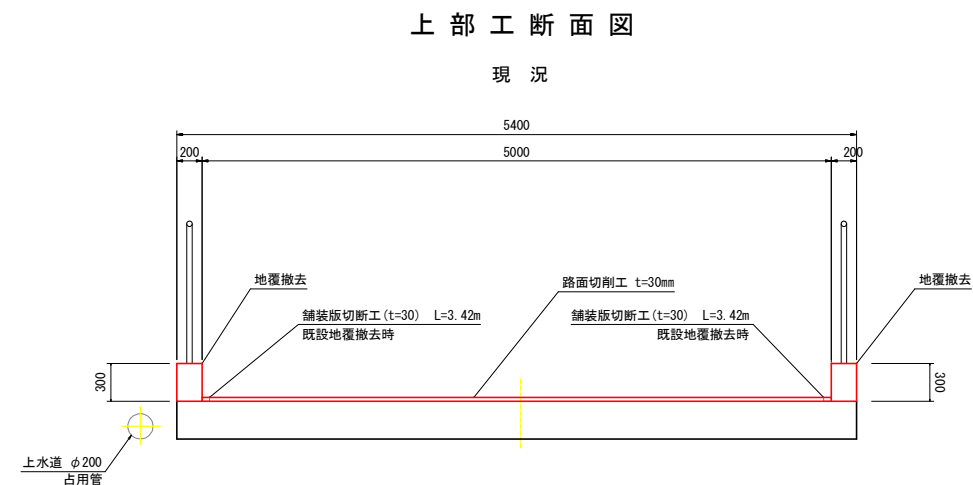
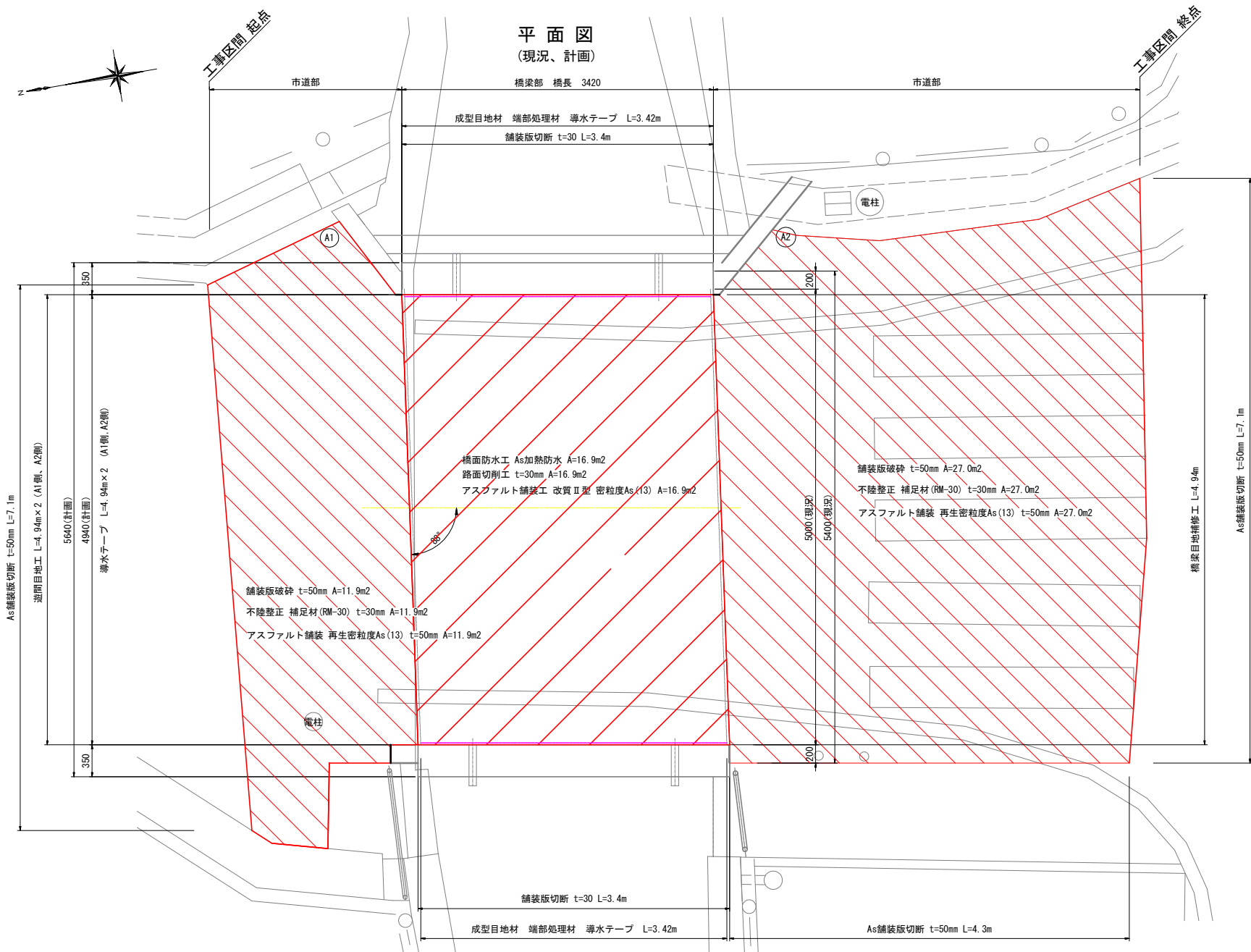
下部工正面図



注) 本図は現地計測結果に基づき、竣工図面を再現したものである。

施工年度	令和8年度
工事番号	保維8-1
工 事 名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	補修一般図
縮 尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 3

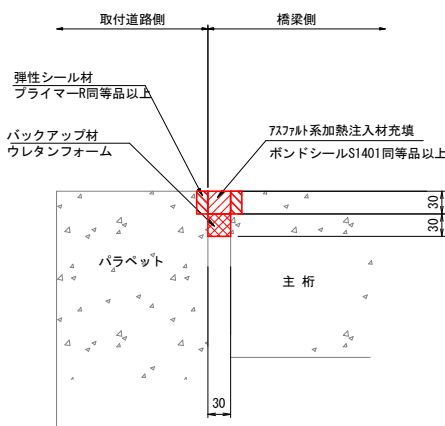
舗装工・目地遊間工 S=1:30



舗装打替工 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
舗装版切断	アスファルト舗装 t=30、t=50	m	25.3	
路面切削	アスファルト舗装 t=30mm	m ²	16.9	
切削くず運搬・処分	切削くず	m ³	0.51	
舗装版破砕	t=50mm	m ²	38.9	
アスファルト殻運搬・処分	アスファルト塊	m ³	2.0	
橋面防水	アスファルト加熱防水	m ²	16.9	
成形目地材	t=5mm 樹脂・MSSテープⅡ型同等品以上	m	6.8	
導水テープ	t=5mm クラフト導水テープ同等品以上	m	16.7	
端部処理材		m	6.8	
アスファルト舗装 (橋面)	改質As 密粒Ⅱ型(13)	m ²	16.9	
不陸整正	RM-30 t=30mm	m ²	38.9	
アスファルト舗装 (市道)	再生密粒度As(13) t=50 PK-3	m ²	38.9	

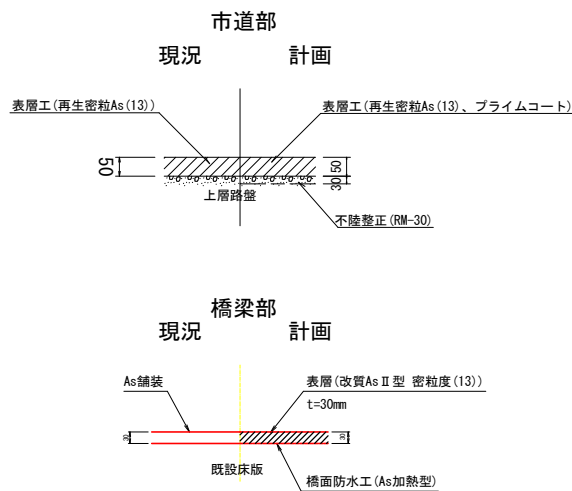
遊間目地工図 S=Free



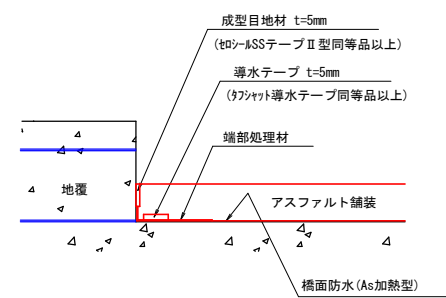
遊間目地工 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
目地補修		m	100.00	
弾性シール材	プライマーR同等品以上	kg	2.16	
バックアップ材	ウレタンフォーム	L	94.50	
アスファルト系加熱注入材	ボンドシールS1401同等品以上	kg	117.00	

舗装構成図 S=1/10



地覆端部詳細図 S=Free

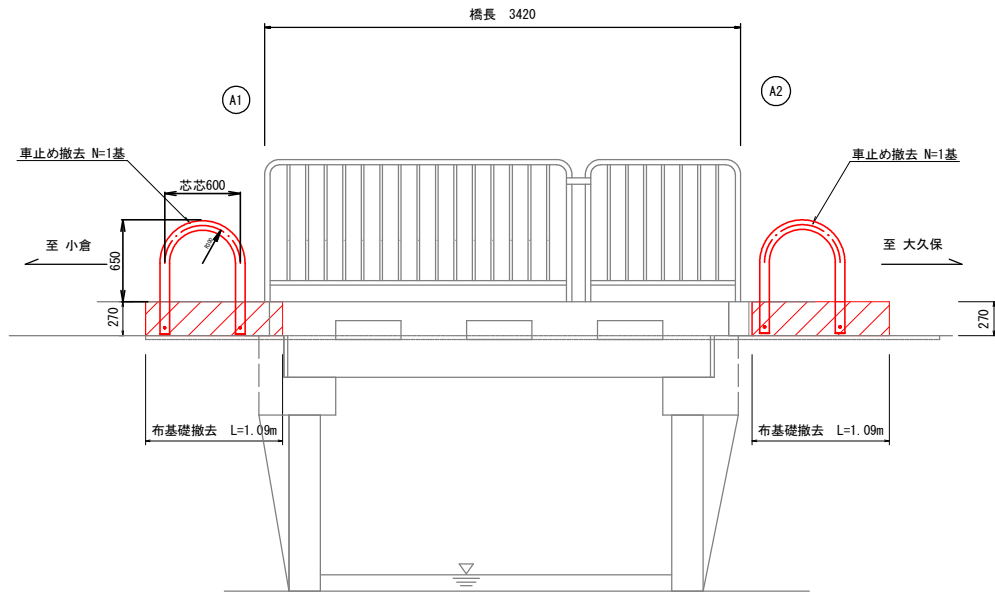


注) 1. 施工に際して現地寸法の確認のうえ行うこと。

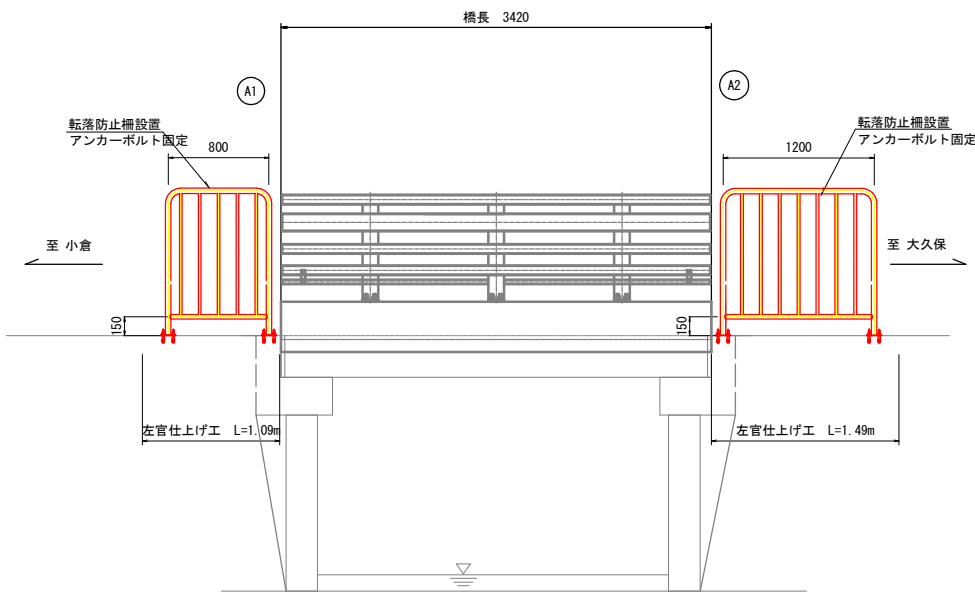
施工年度	令和8年度
工事番号	保補8-1
工事名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	舗装工・目地遊間工
縮尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 4

転落防止柵取替工 S=1:30

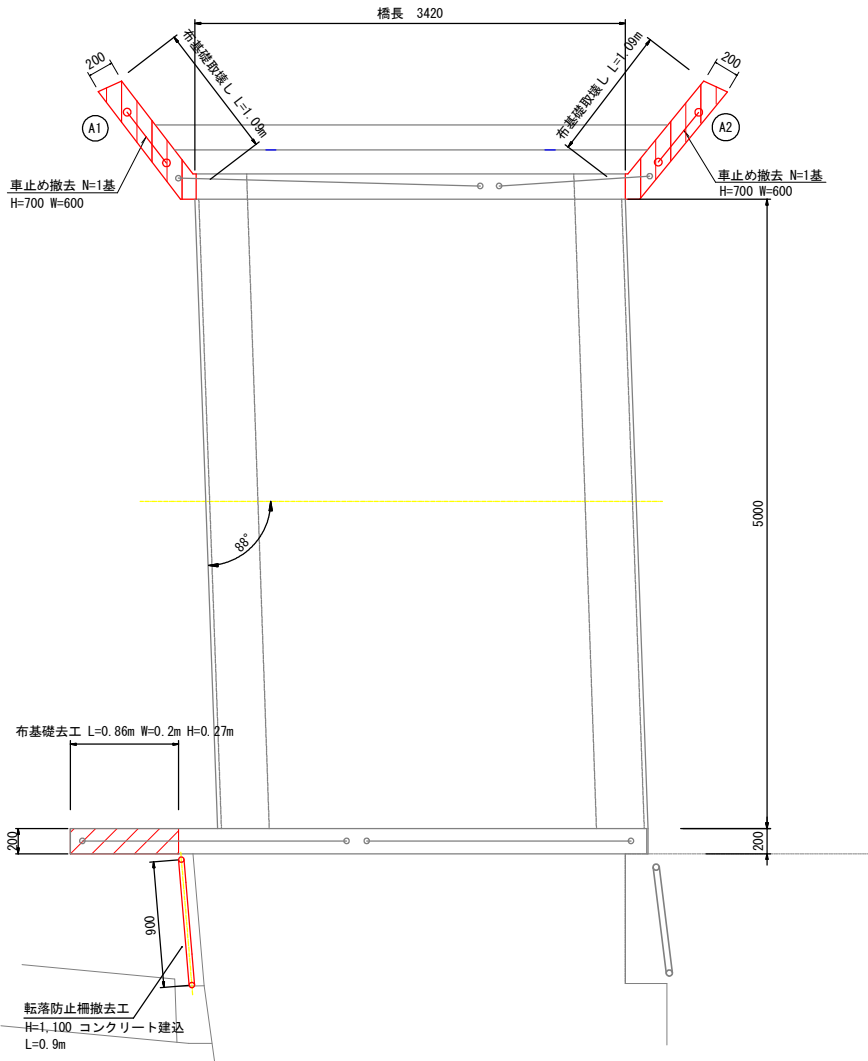
現況図
側面図



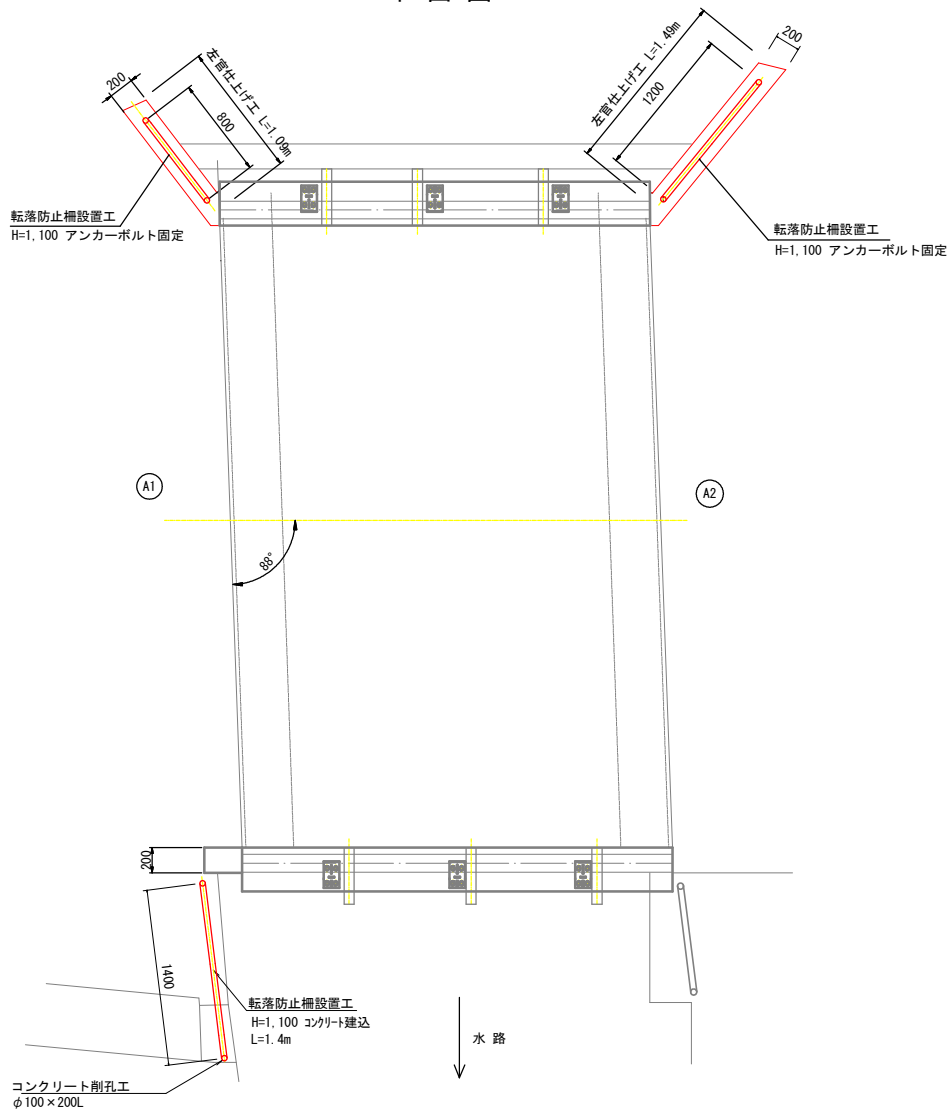
計画図
側面図



平面図



平面図



転落防止柵設置工 数量表

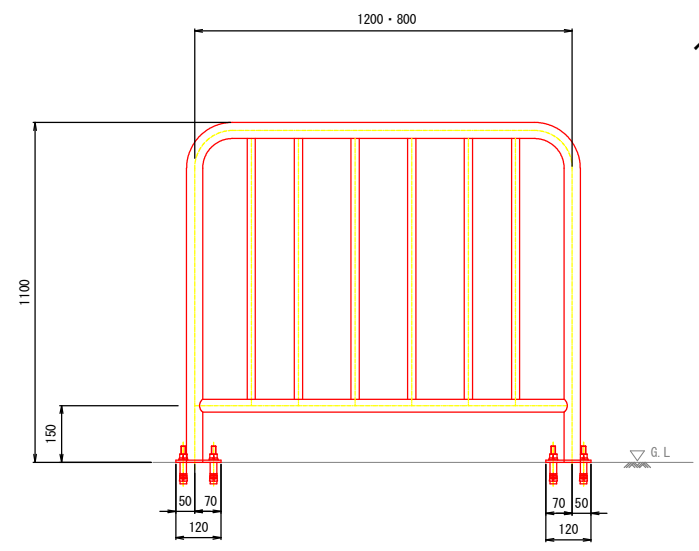
名称	規格	単位	数量	備考
車止め撤去	H=800 W=650	基	2	10.5kg/基
転落防止柵撤去	H=1,100 縦桟型 コンクリート建込式	m	0.9	12.5kg/3m
スクラップ	へびー H-2	t	0.02	
布基礎取壊し	無筋 人力	m	3.0	
コンクリート殻運搬・処分	無筋	m3	0.1	
左官仕上げ工	W=200 L=2580	m2	0.5	
コンクリート削孔	φ100×200	孔	1	
転落防止柵設置	H=1,100 縦桟型 コンクリート建込式	m	1.4	
	H=1,100 縦桟型 アンカーボルト固定式	m	2.0	L=0.8m, 1.2m

注) 1. 施工に際しては、現地寸法を確認すること。
2. 表面処理は溶融亜鉛めっき仕上とする。

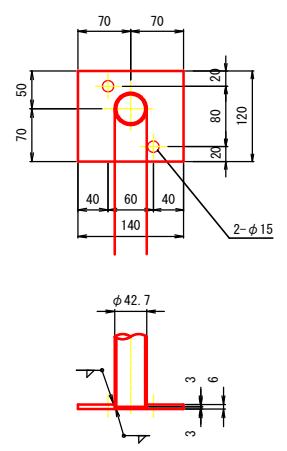
施工年度	令和8年度
工事番号	保補8-1
工事名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	転落防止柵取替工 (その1)
縮尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 5

転落防止柵取替工（その2）

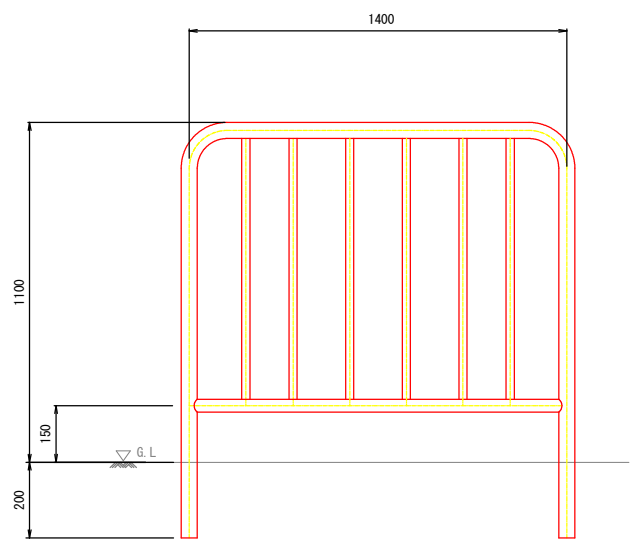
転落防止柵詳細図（上流側） S=1:10



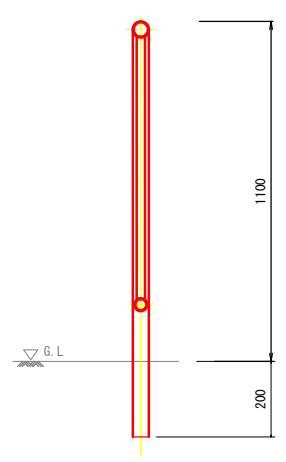
ベースプレート部詳細 S=1:5



転落防止柵詳細図（下流側） S=1:10

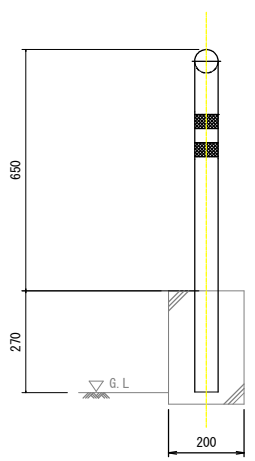


断面図 S=1:10

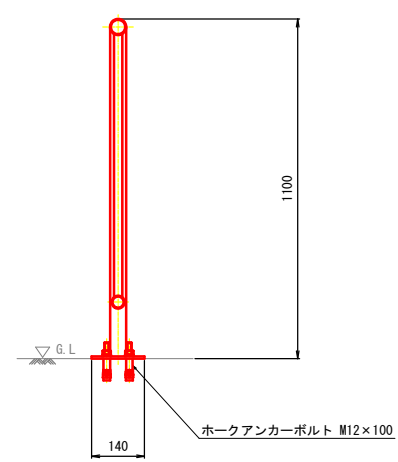


断面図 S=1:10

現況図

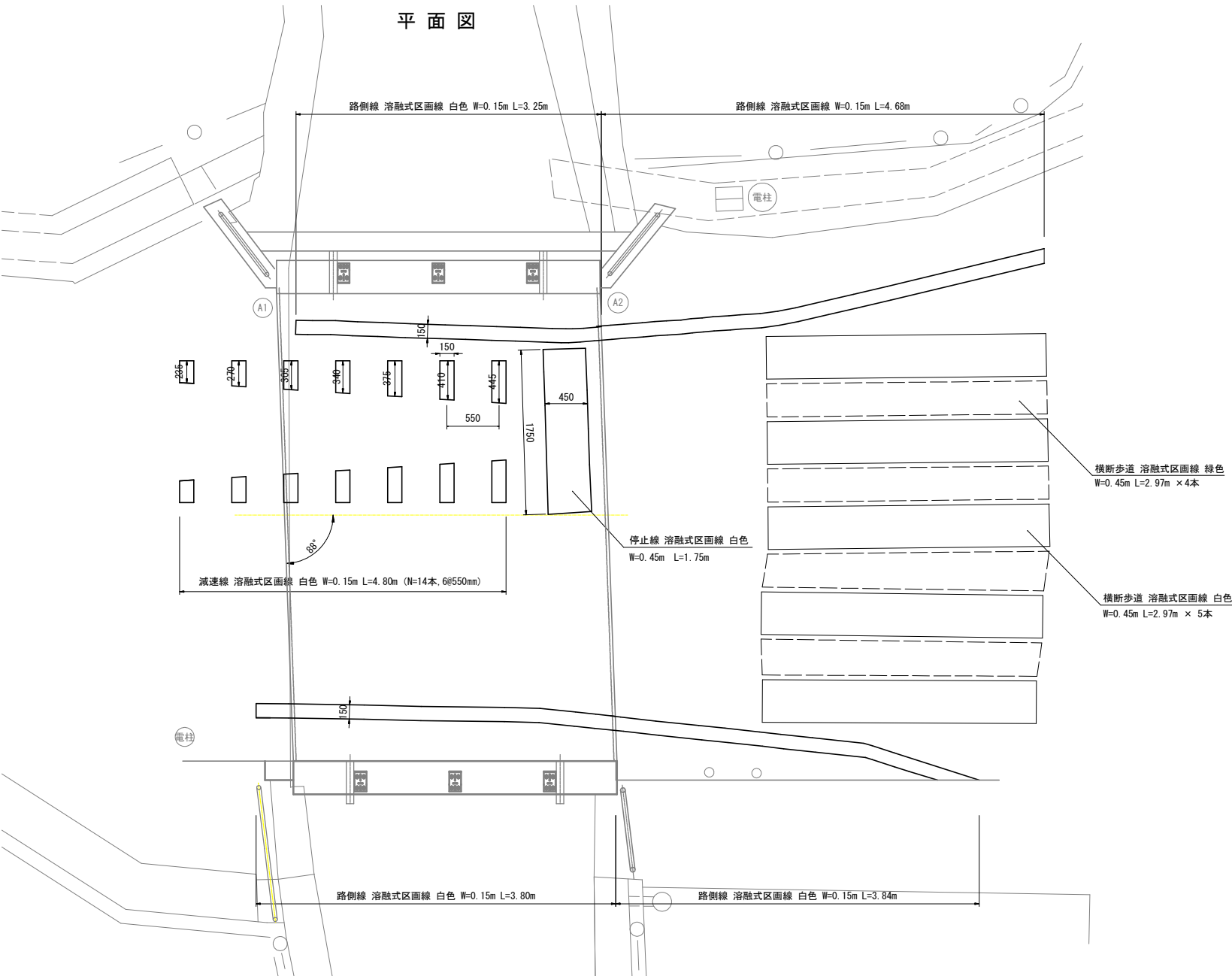


計画図



施工年度	令和8年度
工事番号	保繕8-1
工事名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	転落防止柵取替工（その2）
縮尺	図示
図面番号	15 葉之内 6

区画線工 S=1:30



区画線工 数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
路側線	熔融式区画線 15cm 実線 白色	m	15.6	
停止線	熔融式区画線 45cm ゼブラ 白色	m	1.8	
横断歩道	熔融式区画線 45cm ゼブラ 白色	m	14.9	
	熔融式区画線 45cm ゼブラ カラー(緑)	m	11.9	
減速線	熔融式区画線 15cm 破線 白色	m	4.8	

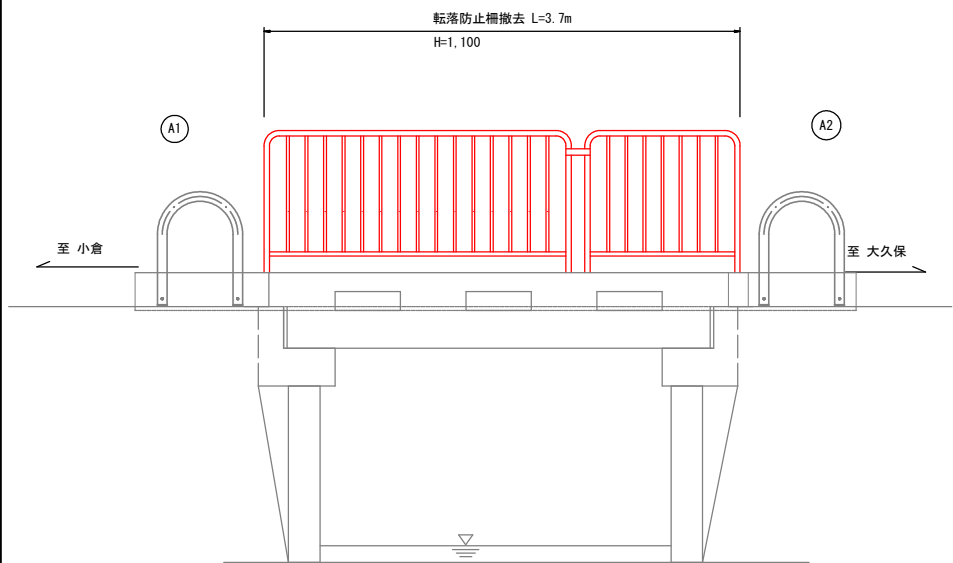
注) 1. 施工に際して現地寸法の確認のうえ行うこと。

施工年度	令和8年度
工事番号	保繕8-1
工 事 名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	区画線工
縮 尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 7

防護柵設置工（その1） S=1:30

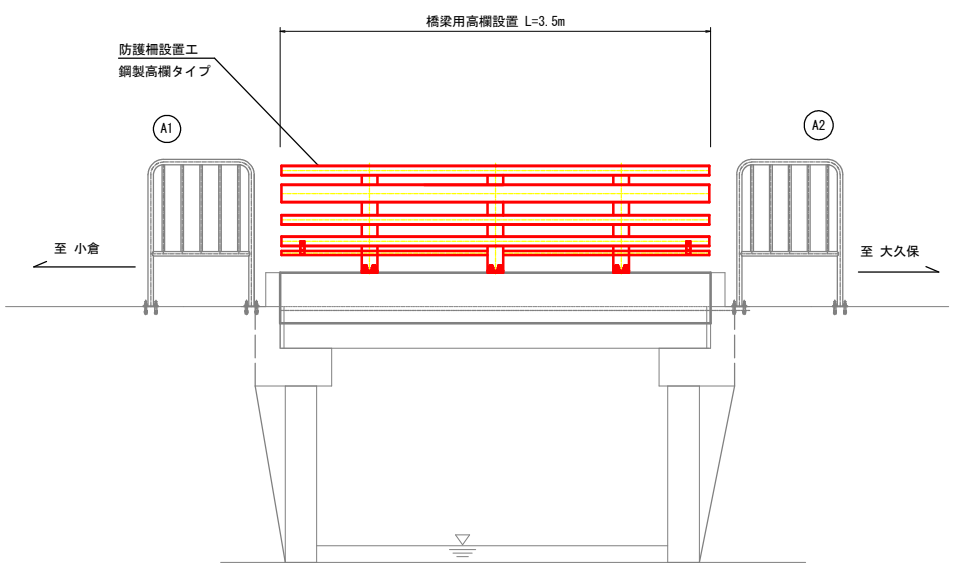
現況図

側面図（上流側参考図）

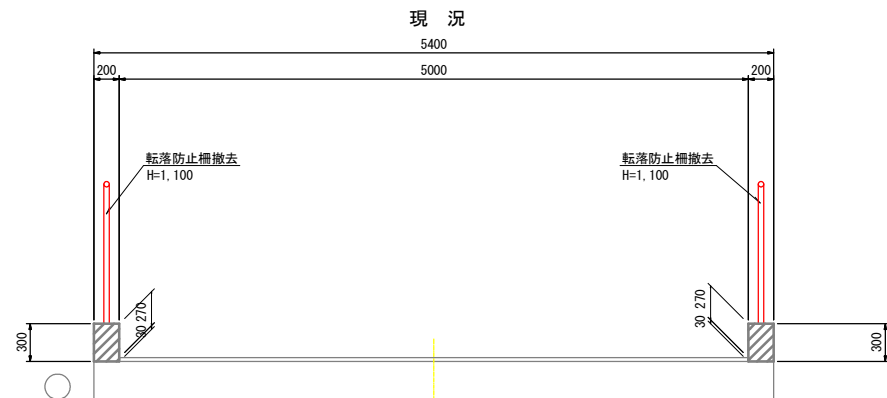


計画図

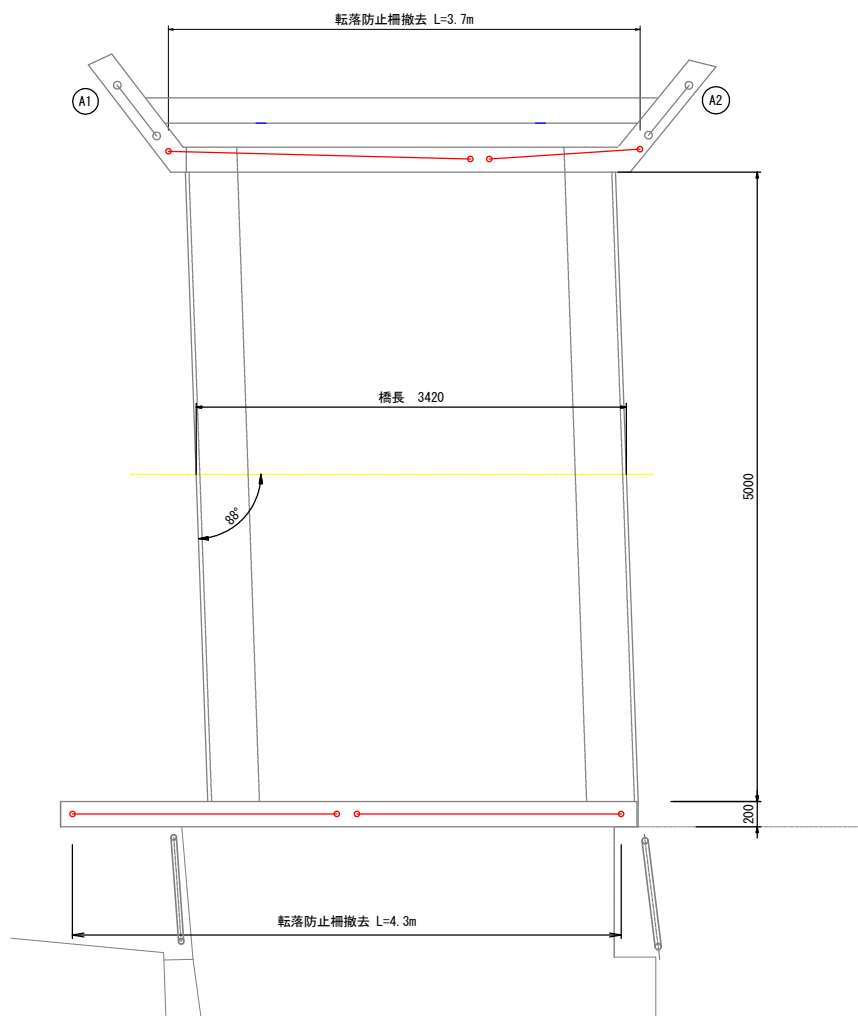
側面図（上流側参考図）



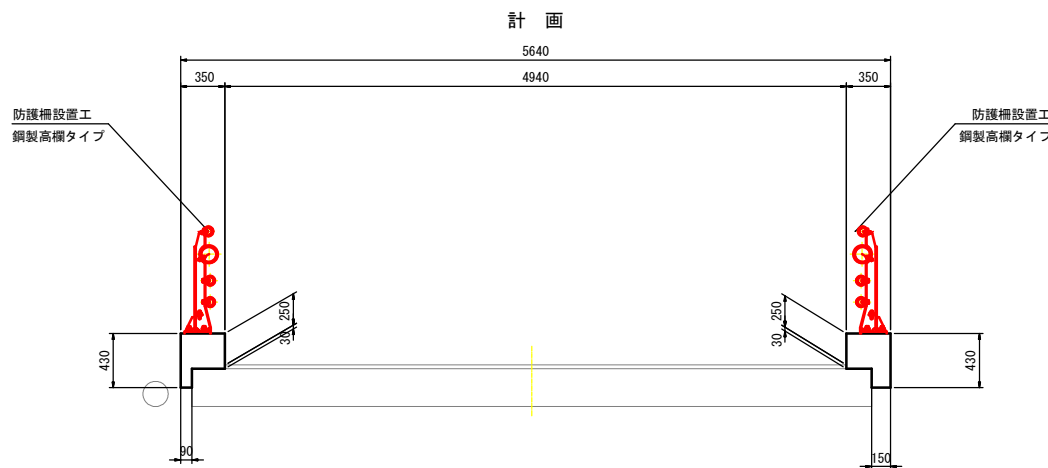
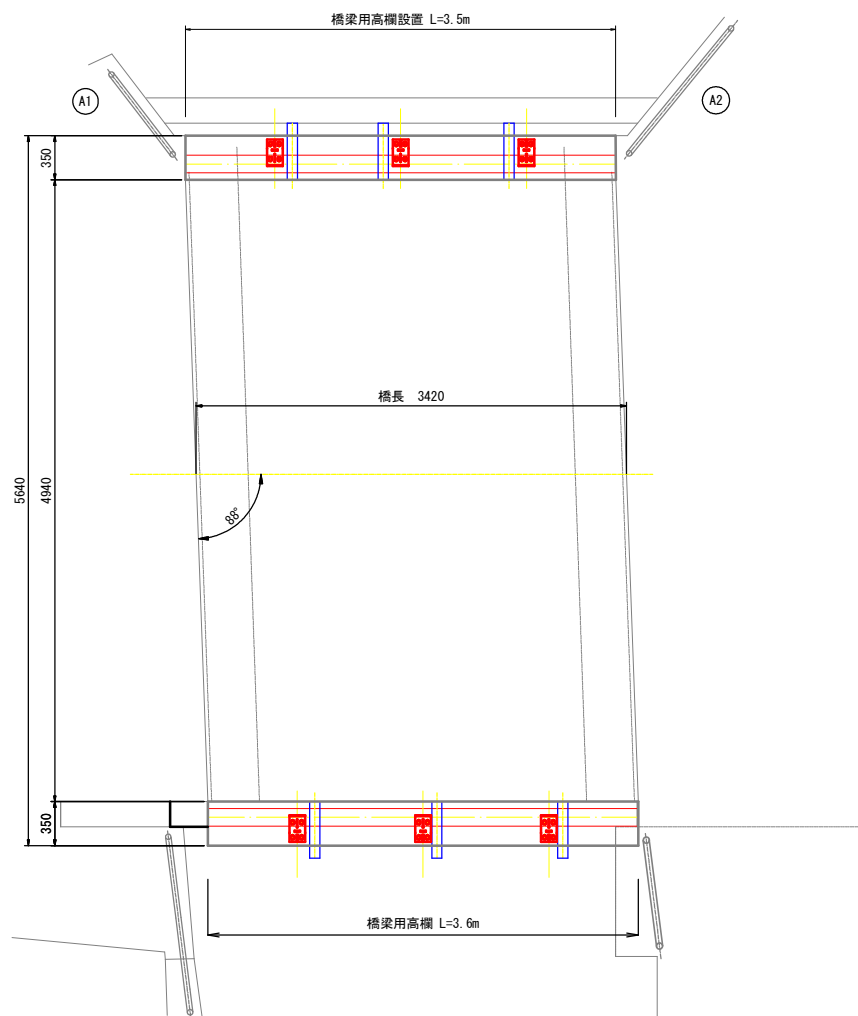
上部工断面図



平面図



平面図



防護柵取替工 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
転落防止柵撤去	H=1,100 コンクリート建込式	m	8.0	12.5kg/3m
スクラップ	φ100-H=2	t	0.033	
橋梁用高欄設置	H=1,100 4段t=4 C種 BP式	m	7.1	

注) 施工に際して現地寸法の確認のうえ行うこと。

施工年度	令和8年度
工事番号	保繕8-1
工事名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	防護柵設置工（その1）
縮尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 8

防護柵設置工（その2）

S=1 : 30

平面割付図 S = 1 / 4 0

注記 1) : 印は支柱【通し部】を示す。

2) : 印は支柱【継手部】を示す。

3) 寸法は割付基準位置上の実長を示す。

4) 製作勾配はレベルとする。

防護柵全長 7 M 1 0 0

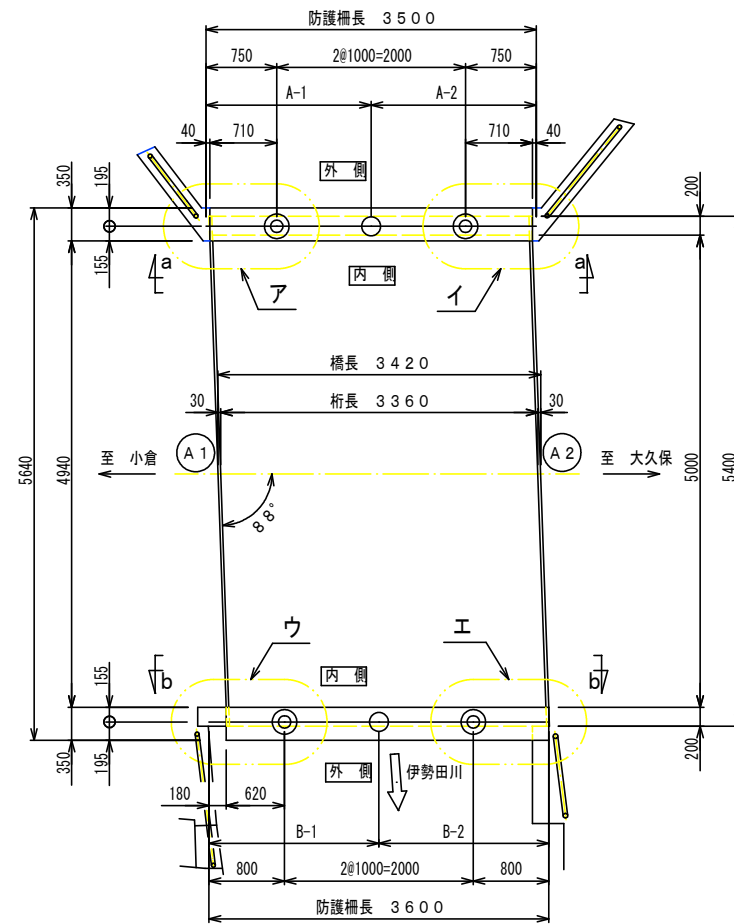
＝注記＝

表面処理：溶融亜鉛めっき仕様

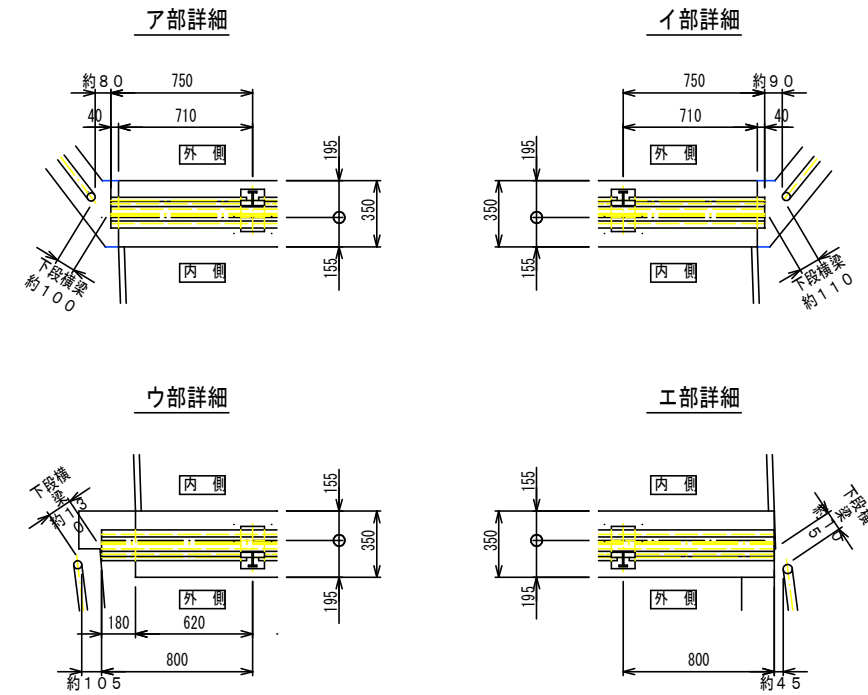
溶解亜鉛めっきHDZT77(旧HDZ55)

但し肉厚 3mm以下の部材は、HDZT56(旧HDZ40)

ボルト類は、HDZT49(旧HDZ35)とする。



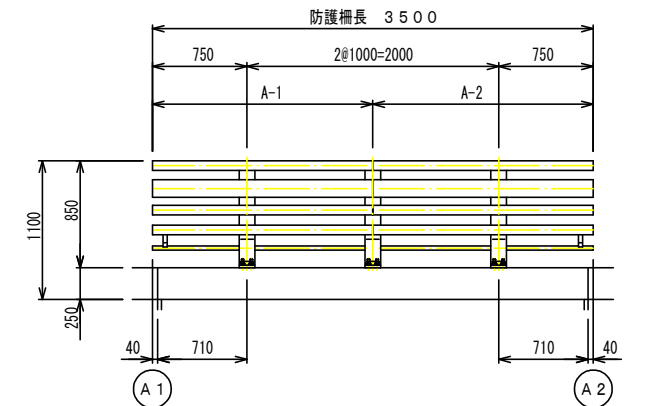
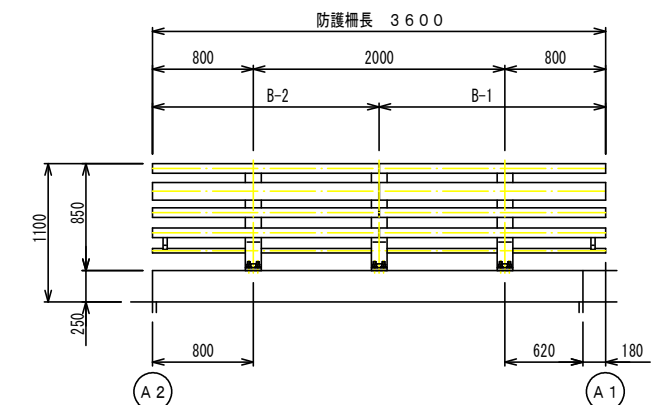
端部取合い詳細図 S=1/20



姿図 S = 1 / 30

注記 1) 本図は内側から見た状態を示す。

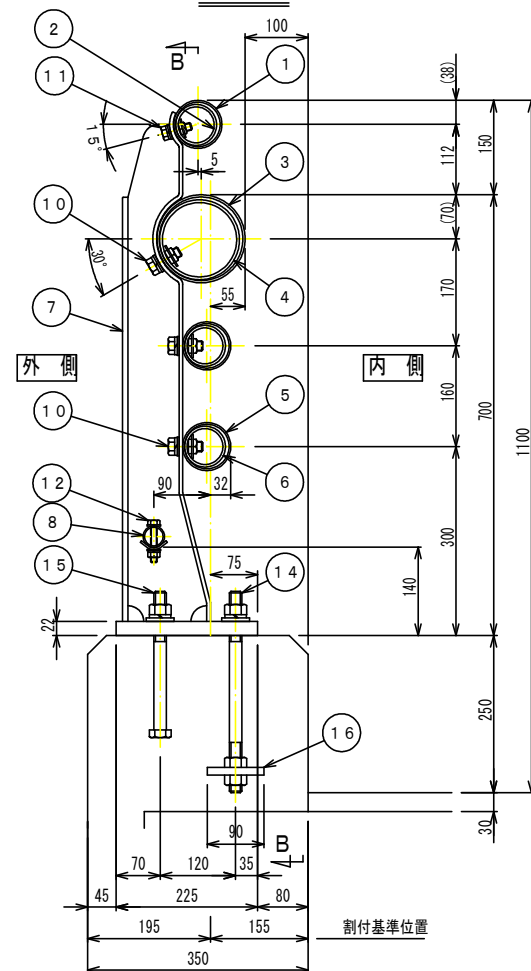
a - a 矢視

b - b 矢視

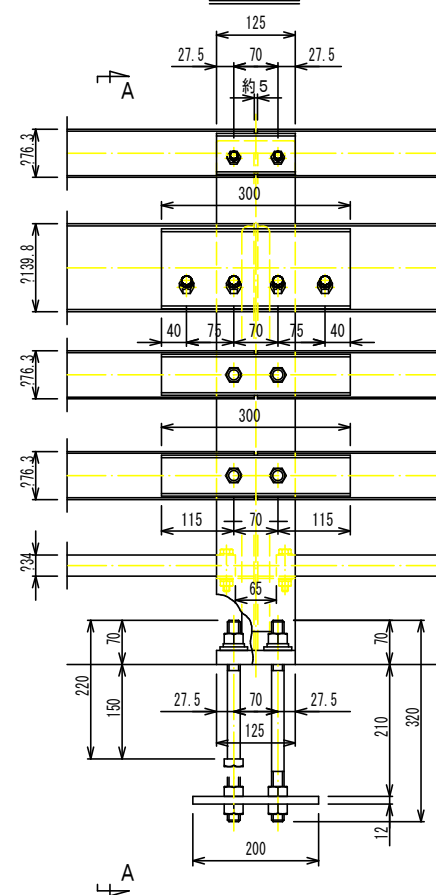
防護柵取付詳細図 S = 1 / 6

KSL-C-PCL3-70150F1

A-A 断面

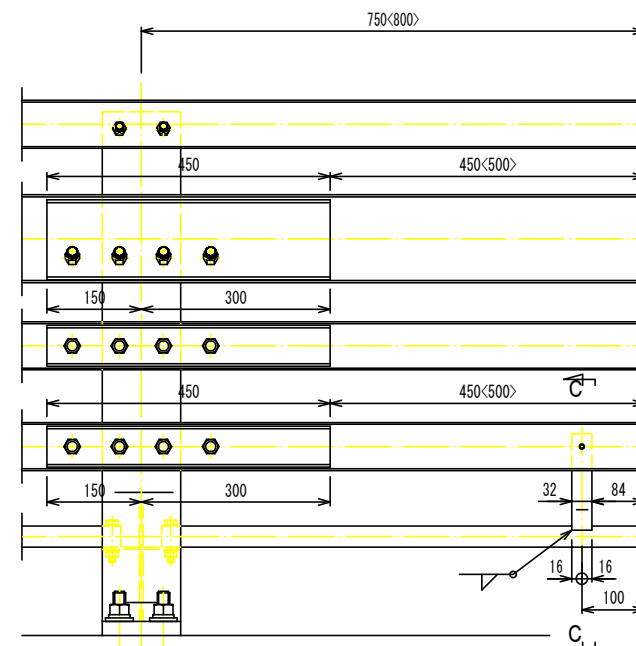


B-B 断面

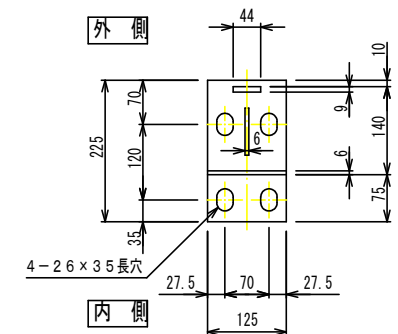


端部詳細

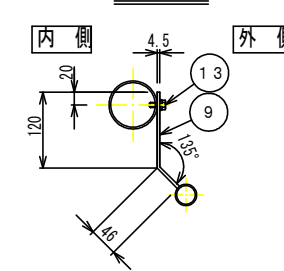
勝手反対有り



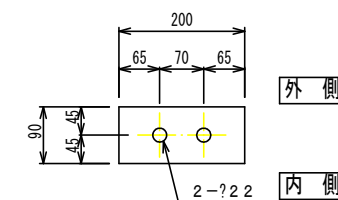
ベースプレート詳細



C-C 断面



アンカープレート詳細 (t 1 2)



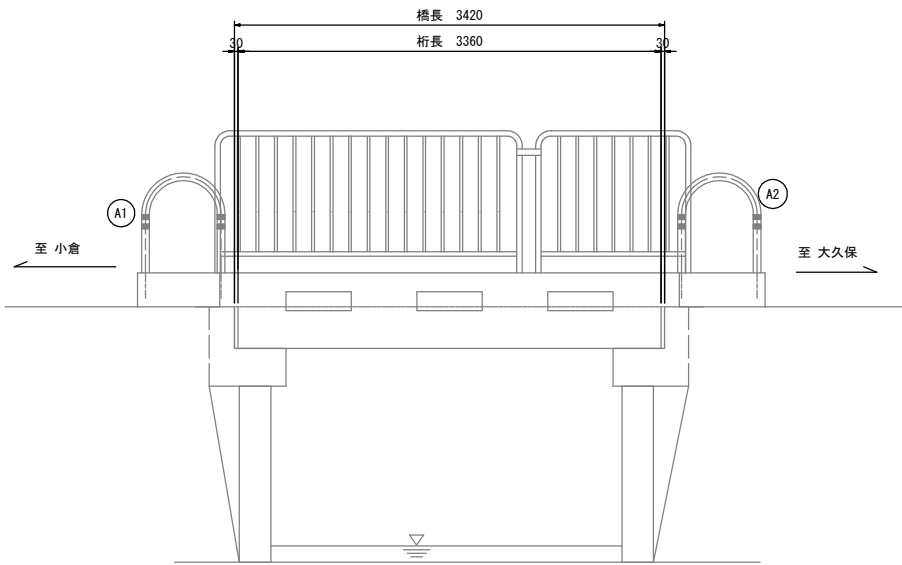
橋梁用ビーム型防護柵は、（一社）全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

	部 材	表面仕上	仕 上 色	備 考	26SR03
防護柵	防護柵本体	HDZT49+塗装	景観色塗装		
	ボルト類	HDZT49	—	アンカープレート含む	

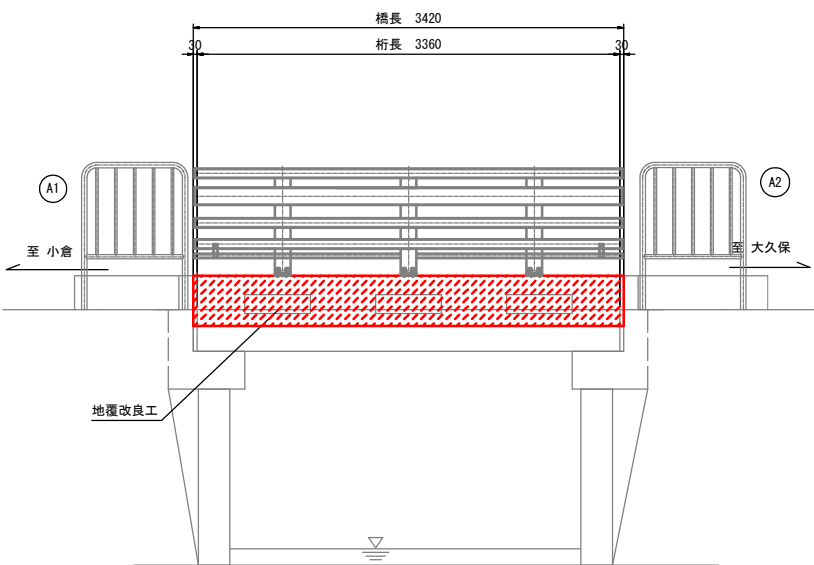
施工年度	令和8年度
工事番号	保雑0-1
工 事 名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	防護柵設置工（その2）
縮 尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 9

橋梁地覆補修工（その1） S=1:30

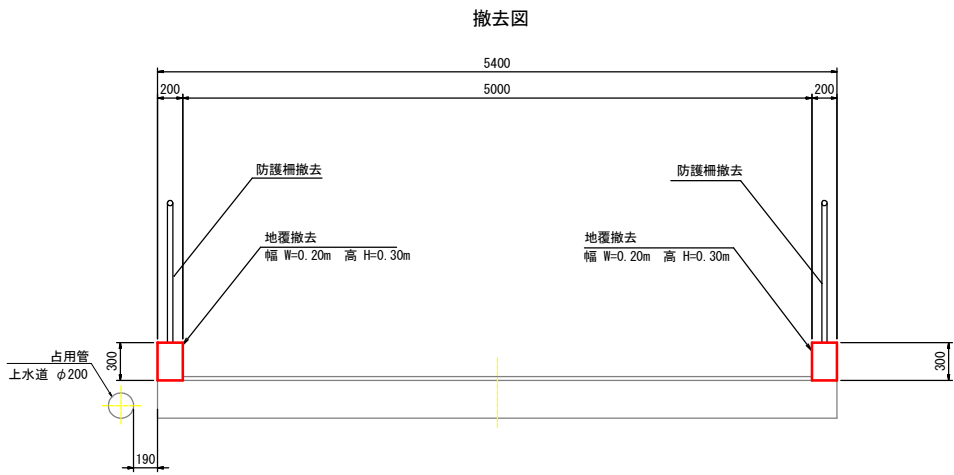
撤去図



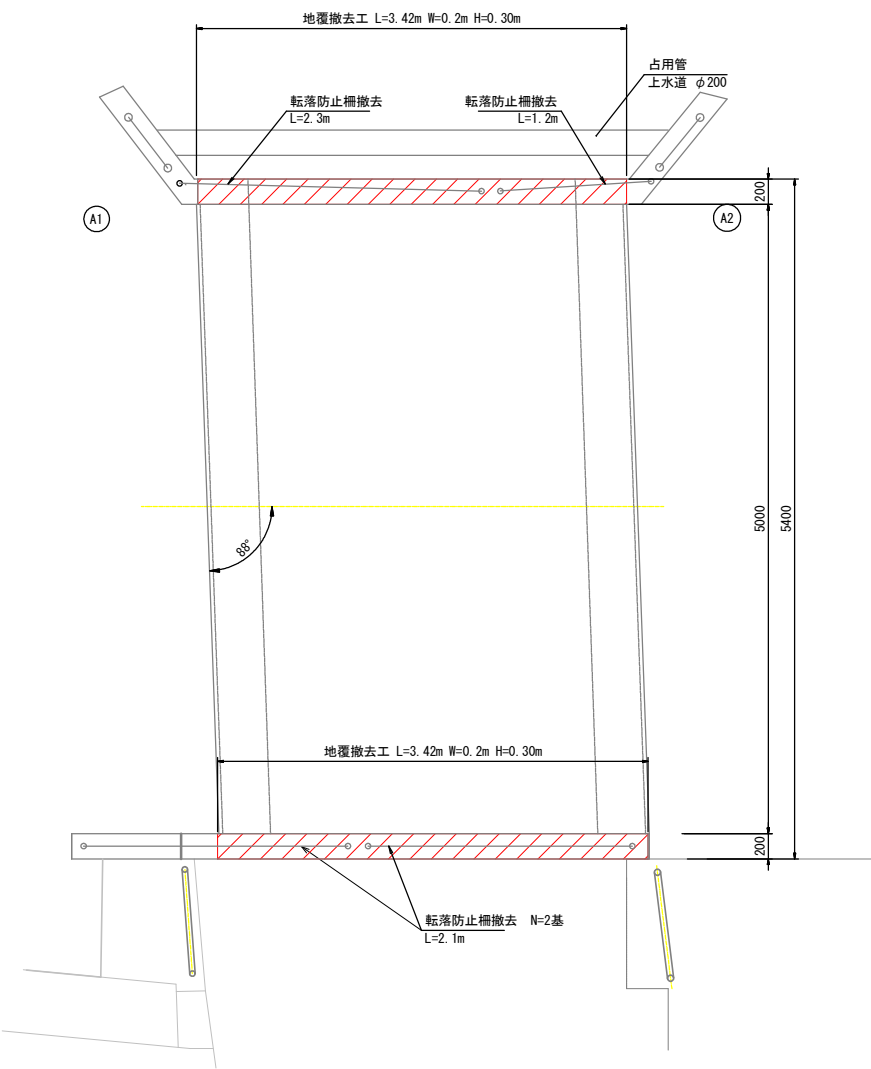
計画図



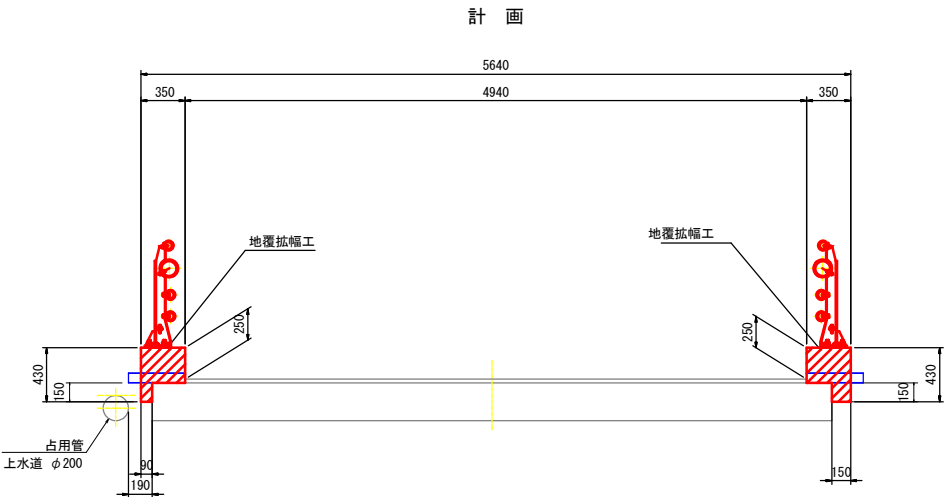
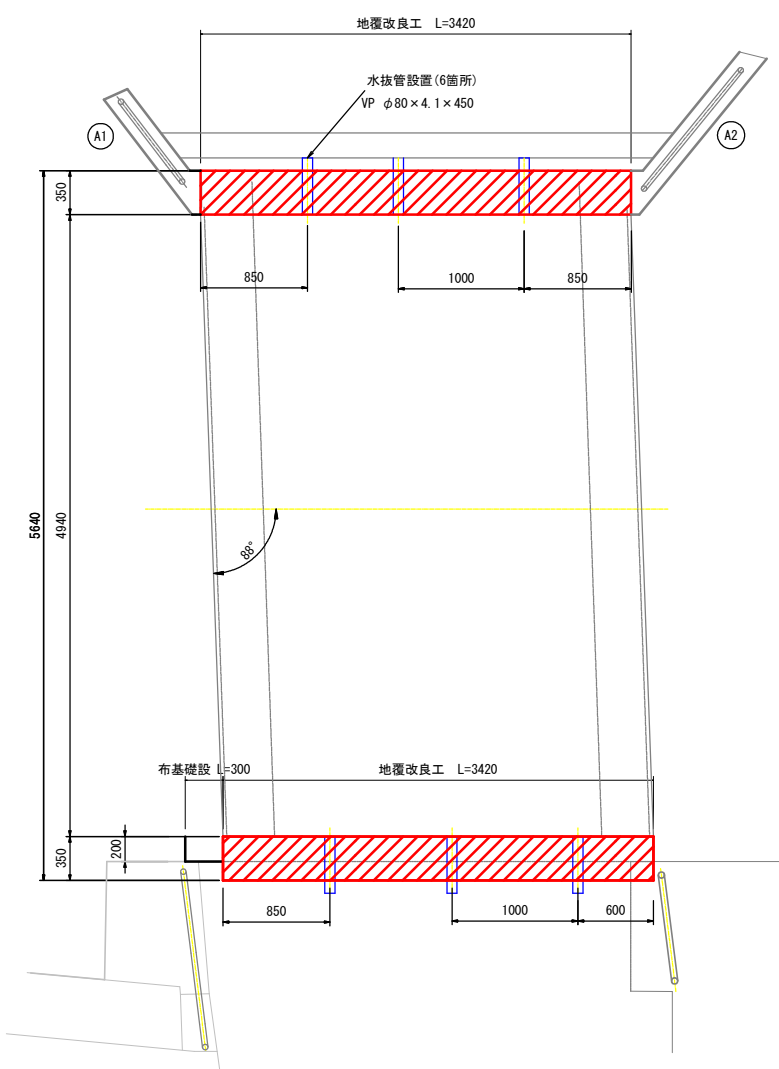
上部工断面図



平面図



平面図



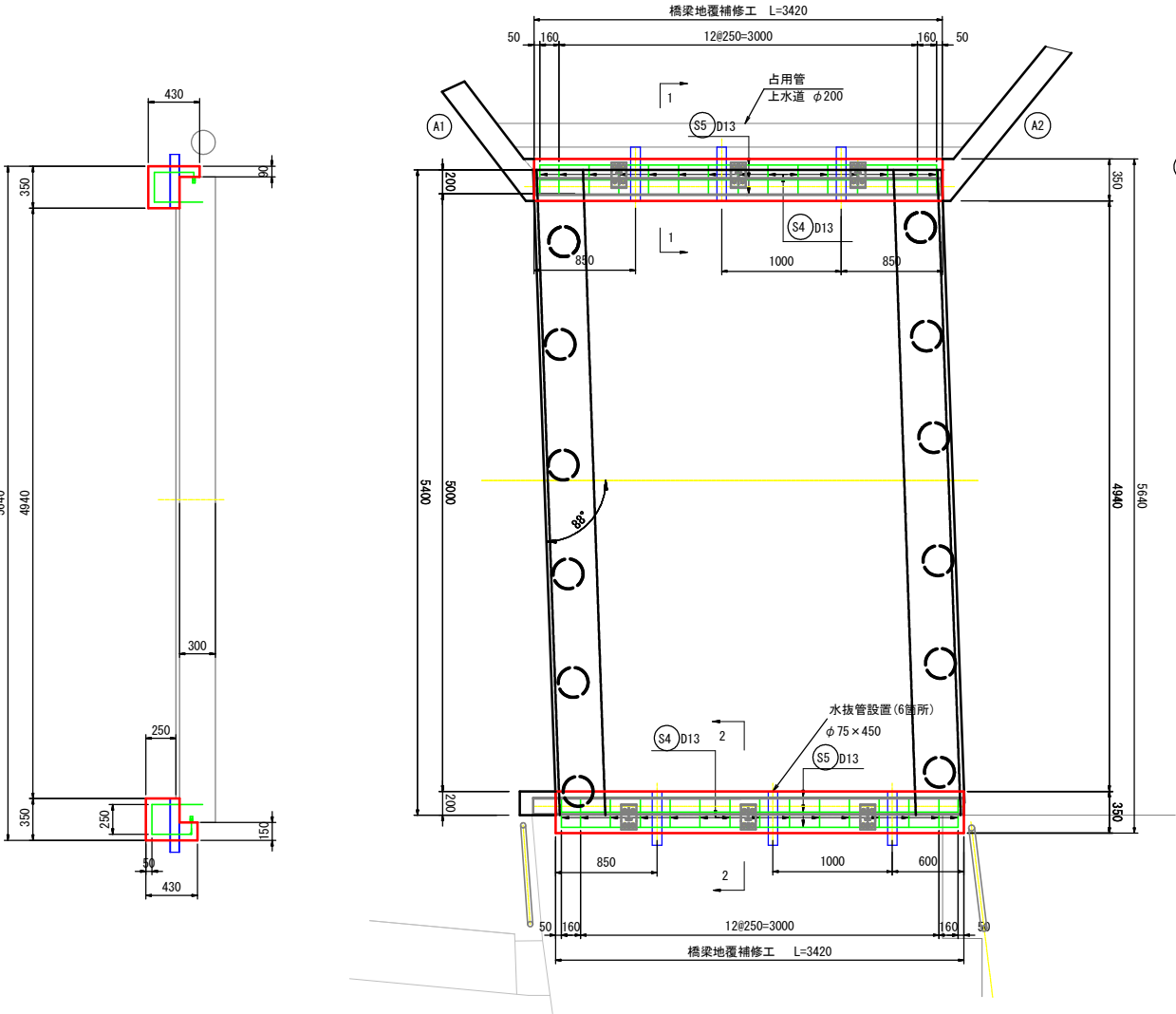
注) 1. 施工に際して現地寸法の確認のうえ行うこと。
2. 地覆のコンクリート打設では、型枠の底面をパイプサポート等で支えるように設置する。設置の際には荷重を考慮した上で本数を決める。

施工年度	令和8年度
工事番号	保補8-1
工事名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	橋梁地覆補修工（その1）
縮尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 10

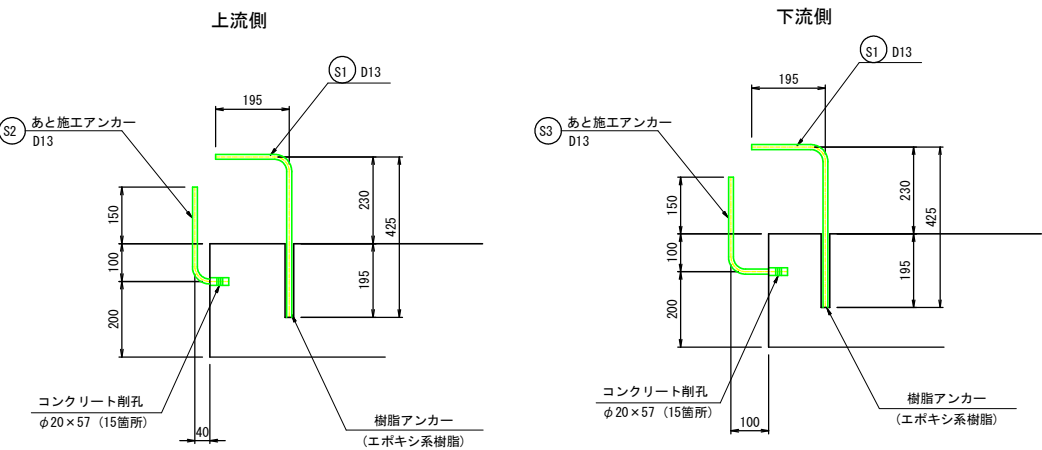
橋梁地覆補修工（その2） S=1:30

＜配筋図＞

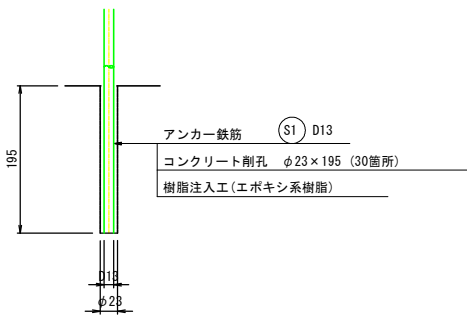
平面図



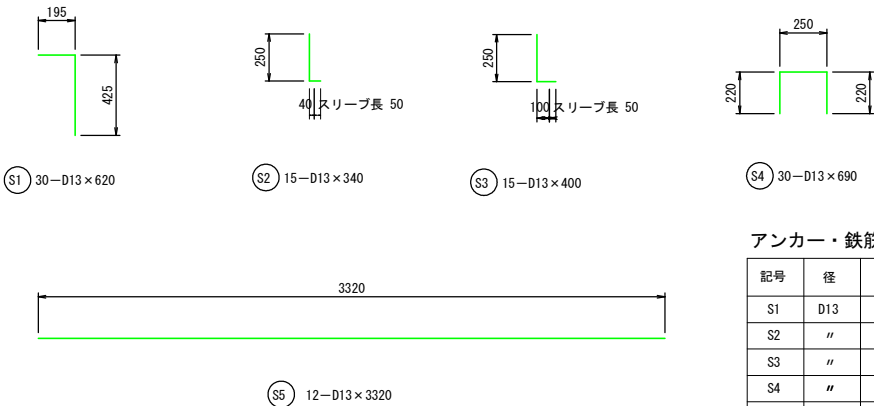
アンカー部詳細図 S=1:10



樹脂アンカー詳細図 S=1:5

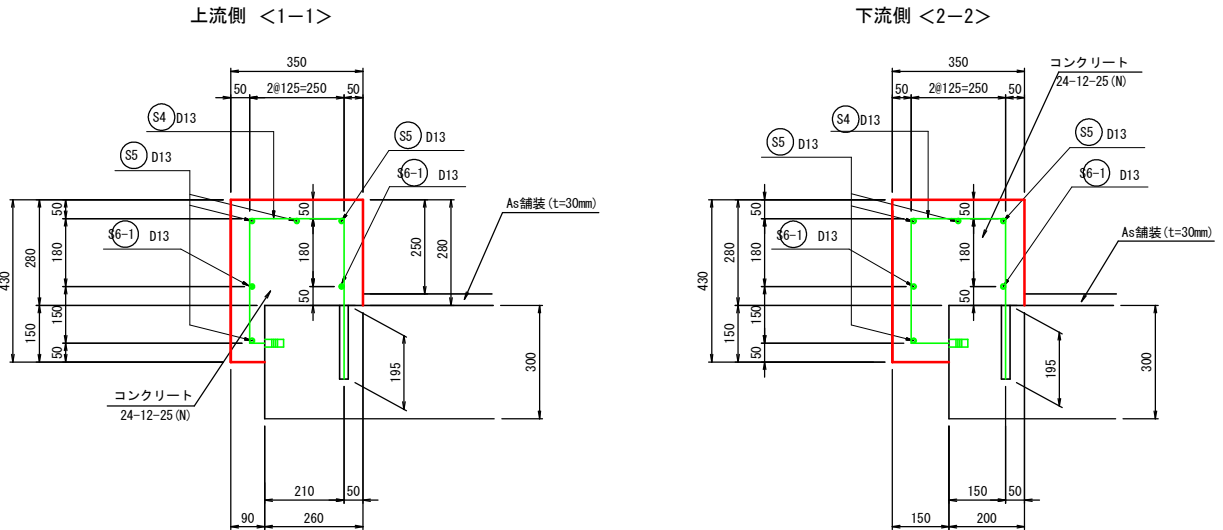


アンカー・鉄筋加工図 S=1:20



アンカー・鉄筋表							1橋あたり
記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
S1	D13	620	30	0.995	0.617	18.5	└
S2	"	340	15	"	0.338	5.1	└
S3	"	400	15	"	0.398	6.0	└
S4	"	690	30	"	0.687	20.6	└
S5	"	3320	12	"	3.303	39.6	└
SD 345				合計	D13	89.8 kg	

地覆部配筋詳細図 S=1:10



橋梁地覆補修工 数量表				
名称	規格	単位	数量	備考
地覆拡幅	有筋 24-12-25 (N)	m	6.8	
既設地覆取壊し	有筋	m3	0.41	
コンクリート殻運搬・処分	有筋	m3	0.41	
鉄筋	SD345 D13	t	0.090	
コンクリート	24-12-25 (N)	m3	0.79	
鉄筋探査	下向き	m2	1.37	
	横向き	m2	1.03	
水接管設置	VP φ75×450	箇所	6	

- 注) 1. 施工に際して現地寸法の確認のうえ行うこと。
2. コンクリート削孔にあたっては、鉄筋探査等を行い既設鉄筋を切断しないこと。
3. 地覆の鉄筋配置は既設床版の配筋を確認後に最終決定すること。
- また、排水管と干渉する場合には、鉄筋加工にて避けること。
4. 新旧コンクリートの接合面は、状況に応じて表面粗しを行うこと。
5. 地覆のコンクリート打設では、型枠の底面をパイプサポート等で支えるように設置する。 設置の際には荷重を考慮した上で本数を決める。

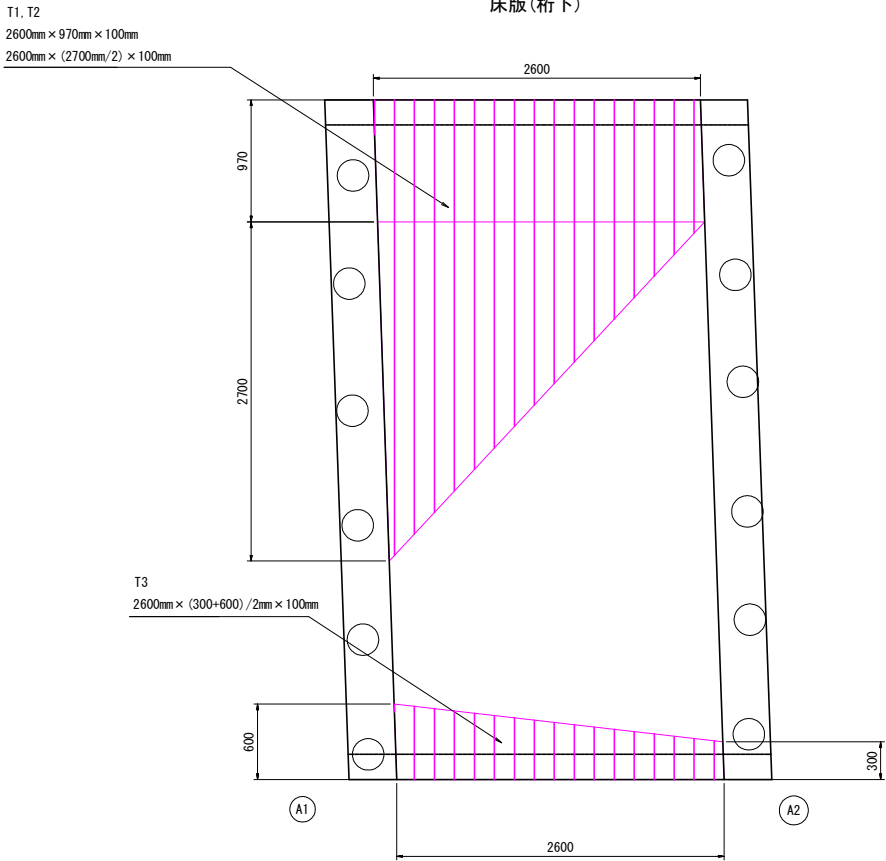
施工年度	令和8年度
工事番号	保補8-1
工 事 名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	橋梁地覆補修工（その2）
縮 尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 11

断面補修工・ひび割れ補修工図（その１）

S=1:30

平面図

床版(桁下)



断面修復工（左官工法：鉄筋防錆あり） 数量表

1橋当り

損傷位置	記号	損傷部材	損傷項目	修復寸法 (m) 幅×長さ×深さ	ヶ所数	面積 (m ²)	体積 (m ³)	備 考
上部工 (桁下)	T1	床版	鉄筋露出	2.60×0.97×0.10	1	2.52	0.252	
	T2	〃	〃	2.60×1.35×0.10	1	3.51	0.351	
	T3	〃	〃	2.60×0.45×0.10	1	1.17	0.117	
下部工	T4	梁部 (A1)	〃	0.70×0.35×0.03	1	0.25	0.007	
計						7.45	0.727	

断面修復工（左官工法：鉄筋防錆なし） 数量表

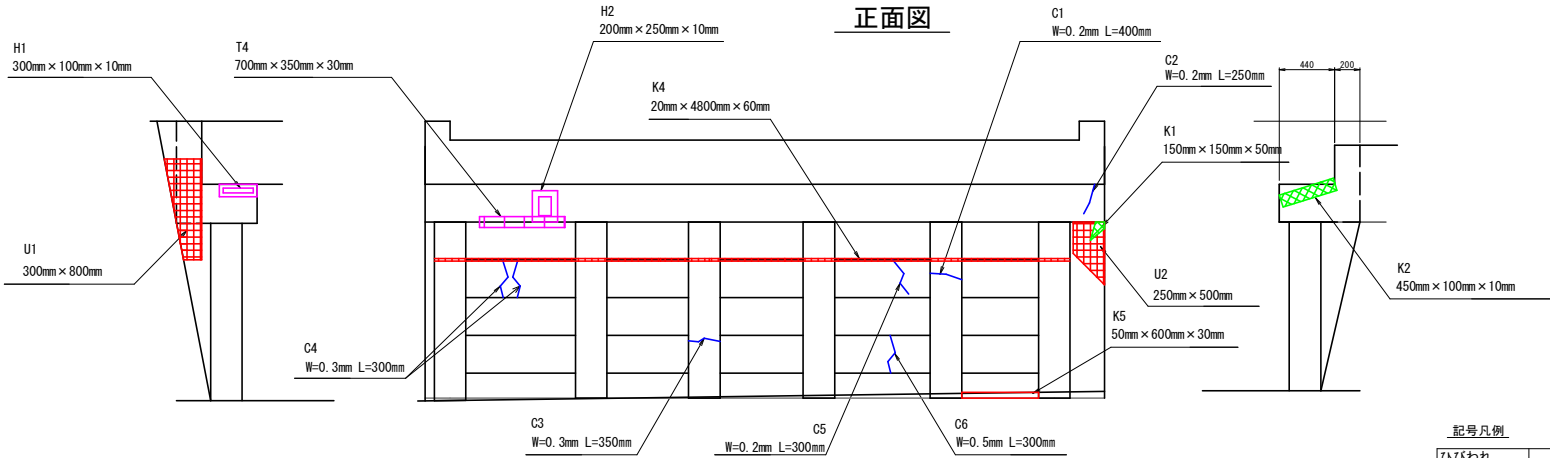
1橋当り

損傷位置	記号	損傷部材	損傷項目	修復寸法 (m) 幅×長さ×深さ	ヶ所数	面積 (m ²)	体積 (m ³)	備 考
下部工	H1	梁部 (A1)	剥離	0.30×0.10×0.01	1	0.03	0.0003	
	H2	〃	〃	0.20×0.25×0.01	1	0.05	0.0005	
	H3	梁部 (A2)	〃	0.40×0.10×0.01	1	0.04	0.0004	
	H4	〃	〃	0.80×0.35×0.03	1	0.28	0.0084	
	H5	〃	〃	0.20×0.40×0.10	1	0.08	0.0080	
	U1	土止壁 (A1)	うき	0.30×0.80×0.01	1	0.24	0.0024	
	U2	〃	〃	0.25×0.50×0.01	1	0.13	0.0013	
	K1	〃	欠損	0.15×0.15×0.05	1	0.02	0.0011	
	K2	梁部 (A1)	〃	0.45×0.10×0.01	1	0.05	0.0005	
	K3	梁部 (A2)	〃	0.20×0.10×0.05	1	0.02	0.0010	
	K4	梁部 (A1, 2)	〃	0.02×4.8×0.06	2	0.19	0.0115	
	K5	梁部 (A1)	〃	0.05×0.60×0.03	1	0.03	0.0009	
	K6	〃	〃	0.05×0.30×0.03	1	0.02	0.0005	
	計					1.18	0.037	左官工法

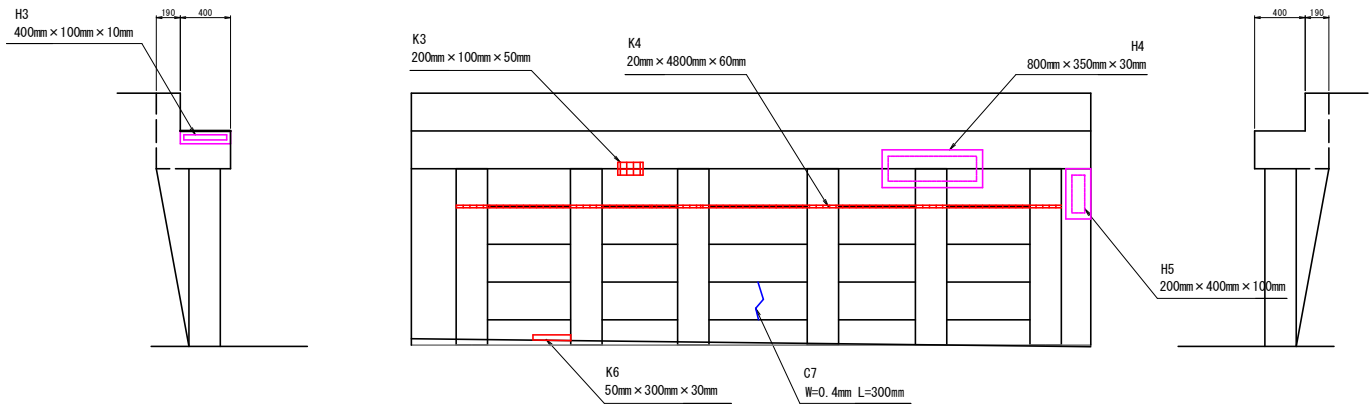
正面図

A1橋台

正面図



A2橋台



記号凡例

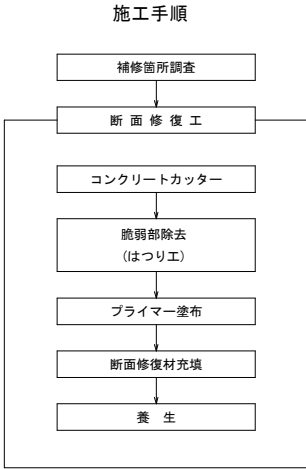
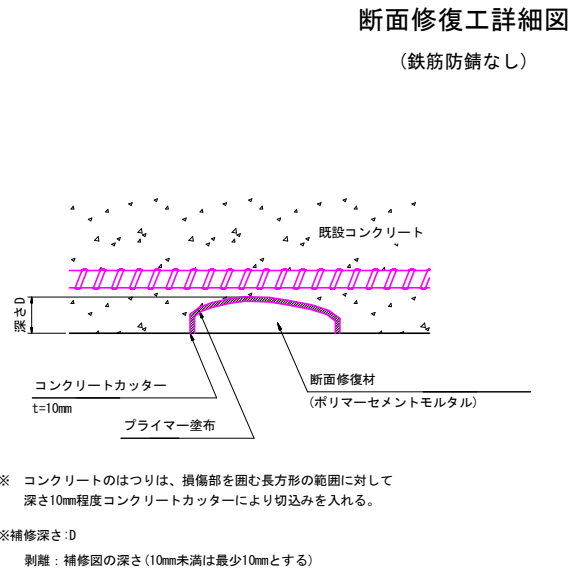
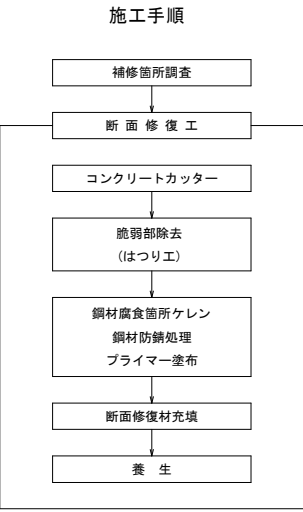
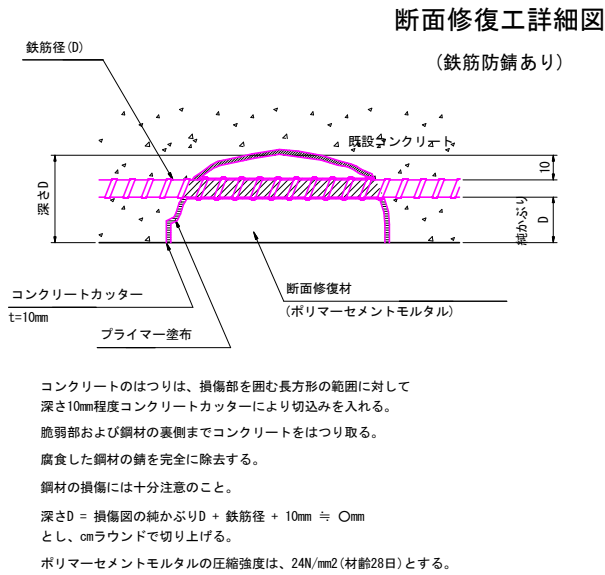
ひびわれ (幅0.20mm以上)	C
剥離	H
鉄筋露出	T
欠損	K
うき	U

ひび割れ補修工（低圧注入工法） 数量表

1橋当り

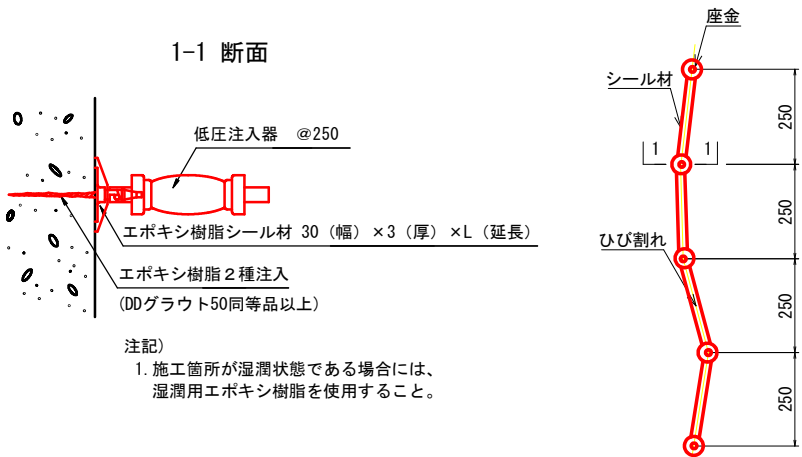
損傷位置	記号	損傷部材	ひびわれ		ヶ所数	注入工 延長 (m)	注入器具 (本)
			幅 (mm)	長さ (m)			
下部工	C1	バイルベント (A1)	0.2	0.40	1	0.40	2
	C2	梁部 (A1)	0.2	0.25	1	0.25	1
	C3	バイルベント (A1)	0.3	0.35	1	0.35	2
	C4	土止壁 (A1)	0.3	0.30	2	0.60	4
	C5	〃	0.2	0.30	1	0.30	2
	C6	〃	0.5	0.30	1	0.30	2
	C7	土止壁 (A2)	0.4	0.30	1	0.30	2
計						2.50	15

施工年度	令和8年度
工事番号	保維8-1
工 事 名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	断面補修工・ひび割れ補修工図（その１）
縮 尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 12



断面修復工（左官工法） 数量集計表			1橋当り
名 称	規 格	単位	数量
断面修復材 (防錆処理有)	ポリマーセメントモルタル (R含む)	m3	0.859
断面修復材 (防錆処理無)	ポリマーセメントモルタル (R含む)	m3	0.043

ひび割れ補修工 低圧注入工法詳細図
(ひび割れ幅0.2mm～1.0mm未満)



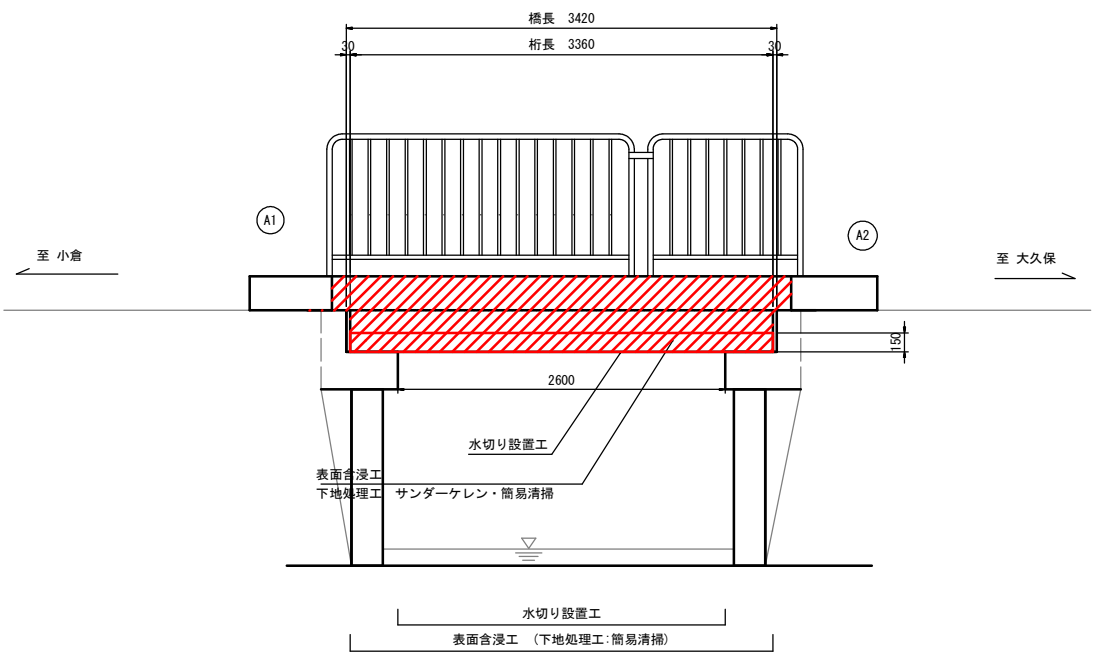
- 注記)
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認した上で各補修工事に反映のこと。
 2. コンクリート研り工
研り作業は、電動チッパー等の小型機械および手研りにより慎重に行い、作業の影響で健全部にクラック等が発生する事が無いよう注意して行う。
研り深さは、腐食した鉄筋の背面まで完全に露出するようにする。
研り深さと面積をもとに修復に必要な体積を算出し、協議・確認を行う。
 3. 鉄筋の防錆処理
研りが完了した損傷部をブローで清掃した後、露出した鉄筋表面の錆びをサンダーブラシ、ワイヤーブラシ等を用いて除去し、鉄筋 防錆材を塗布する。
 4. 断面修復工
断面修復には、接着力に優れたポリマーセメントを使用し、こて塗り（左官工法）により施工する。
上向き施工の際、修復厚さが大きい場合は1回の厚さが10～20mm程度とし、重ね付けを行う。（詳細な手順は使用する材料が指定する施工要領を守ること）
施工後のだれ落ちに注意し、必要に応じた養生を行う。

ひび割れ補修工（低圧注入工法） 数量表			1橋当り
名 称	規 格	単位	数量
低圧注入工法	エポキシ樹脂2種	m	2.5
注入材	エポキシ樹脂2種（ロス含む）	kg	0.031
シーリング材	エポキシ樹脂系（ロス含む）	kg	0.524
注入器具		本	15

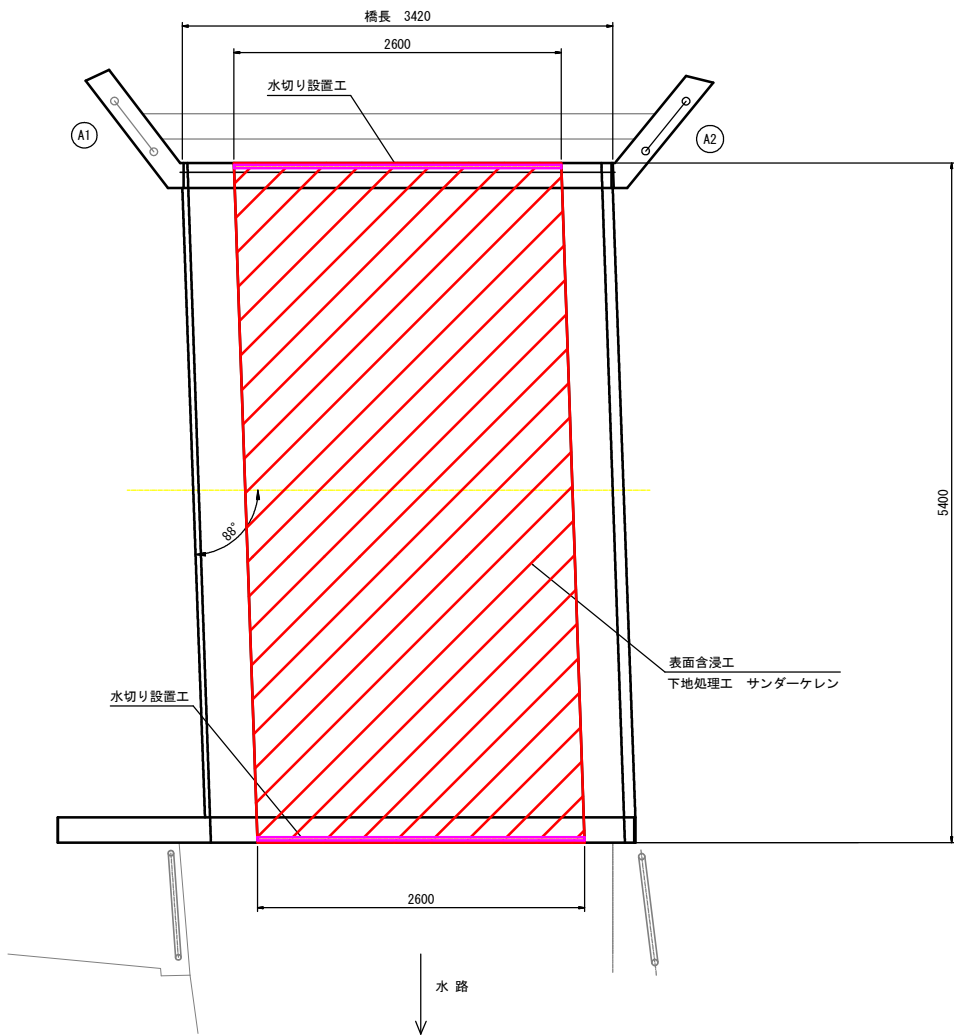
施工年度	令和8年度
工事番号	保補8-1
工 事 名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	断面補修工・ひび割れ補修工（その2）
縮 尺	S=1：30
図面番号	15 葉之内 13

表面含浸工・水切り設置工 S=1:30

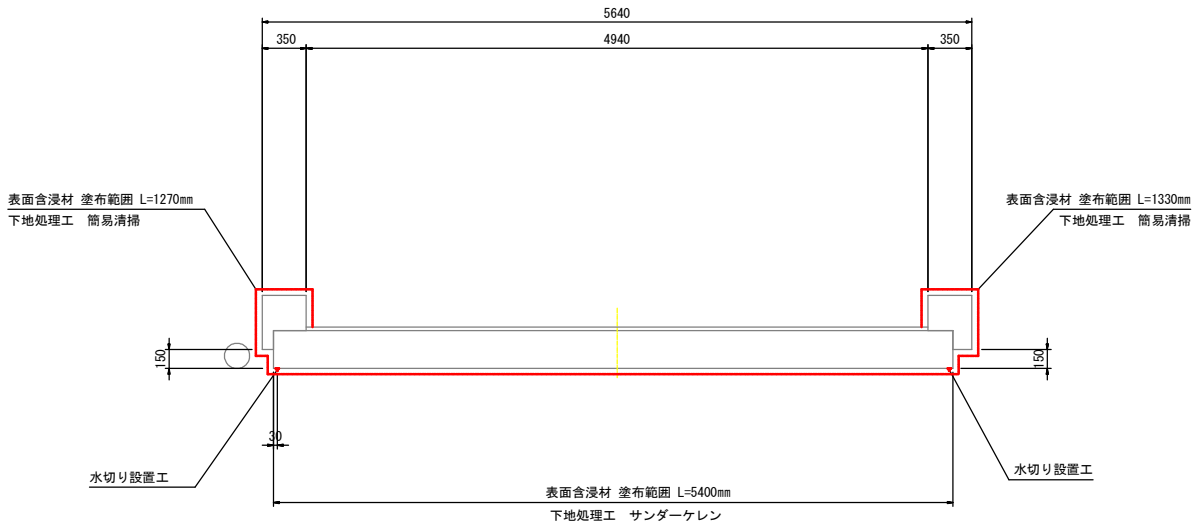
側面図



桁下図

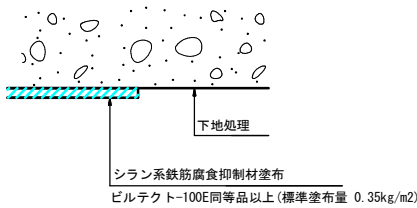


上部工断面図



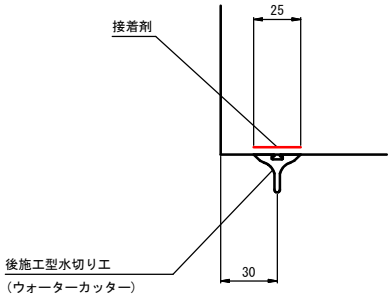
コンクリート表面保護工詳細図

表面含浸工法：鉄筋腐食抑制型表面含浸材



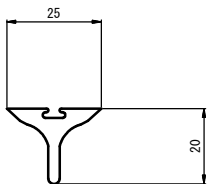
表面含浸工 数量表					1橋当り
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	
下地処理	簡易清掃 (地覆部)	m ²	8.9		
	サンダーケレン (桁下部)	m ²	14.0		
含浸材塗布	シラン系鉄筋腐食抑制材	m ²	22.9	標準塗布量 0.35kg/m ²	
	ビルテクト-100E同等品以上	kg	8.2	ロス率3.0%	

水切り設置詳細図 S=1:2



水切り材詳細図 S=1:1

水切り材 (EPDM系ゴム)



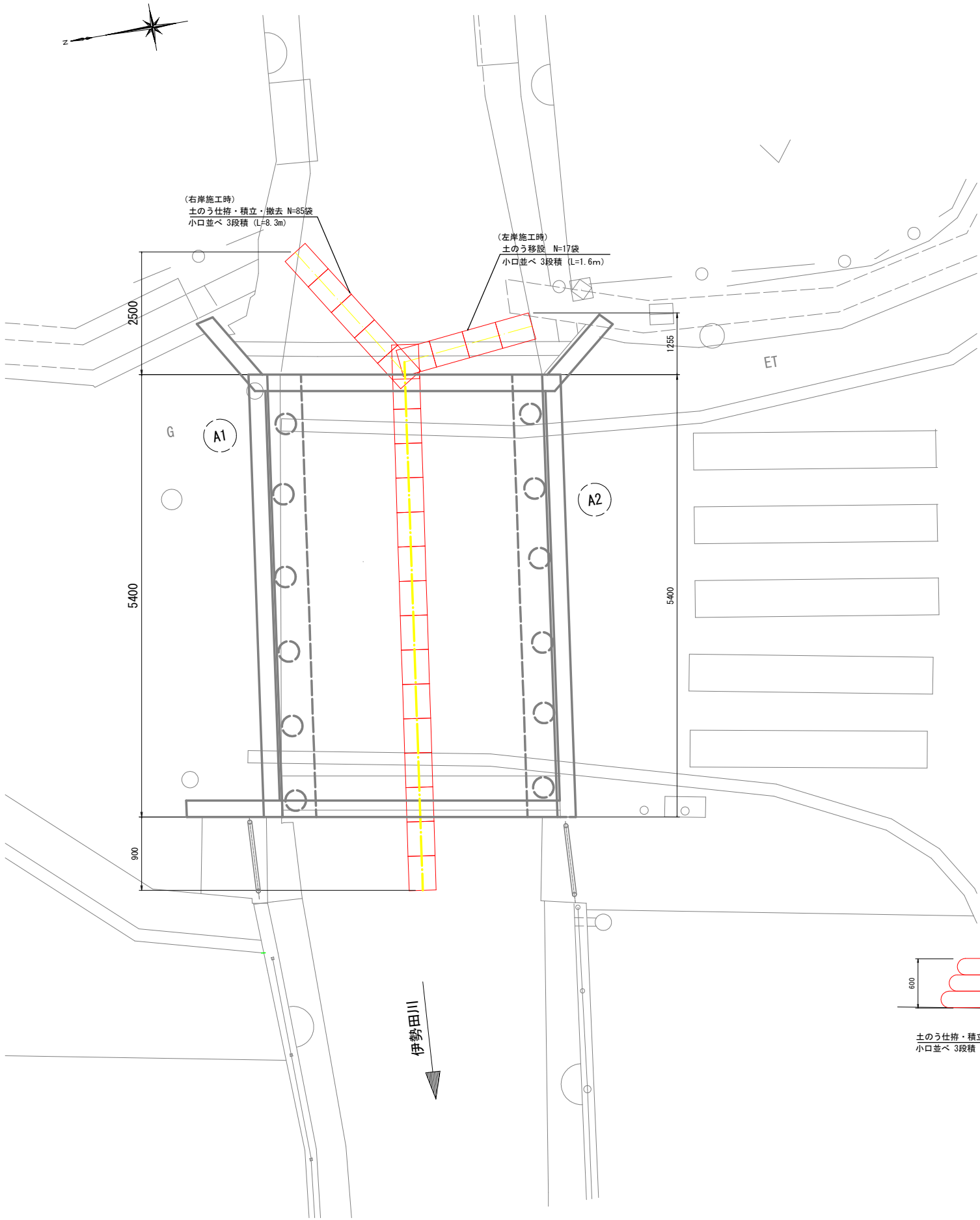
水切り設置工 数量表					1橋当り
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	
水切	EPDM系 ウォーターカッター同等品以上	m	5.2		

注) 施工に際して現地寸法の確認のうえ行うこと。

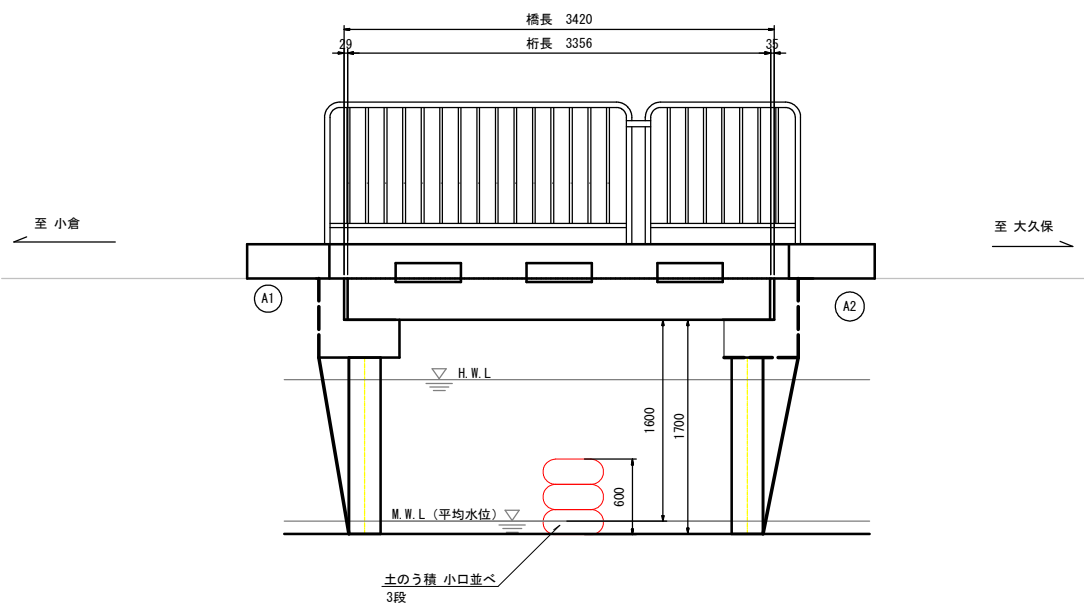
施工年度	令和8年度
工事番号	保繕8-1
工 事 名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	表面含浸工・水切り設置工
縮 尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 14

仮設工（土のう工） S=1:30

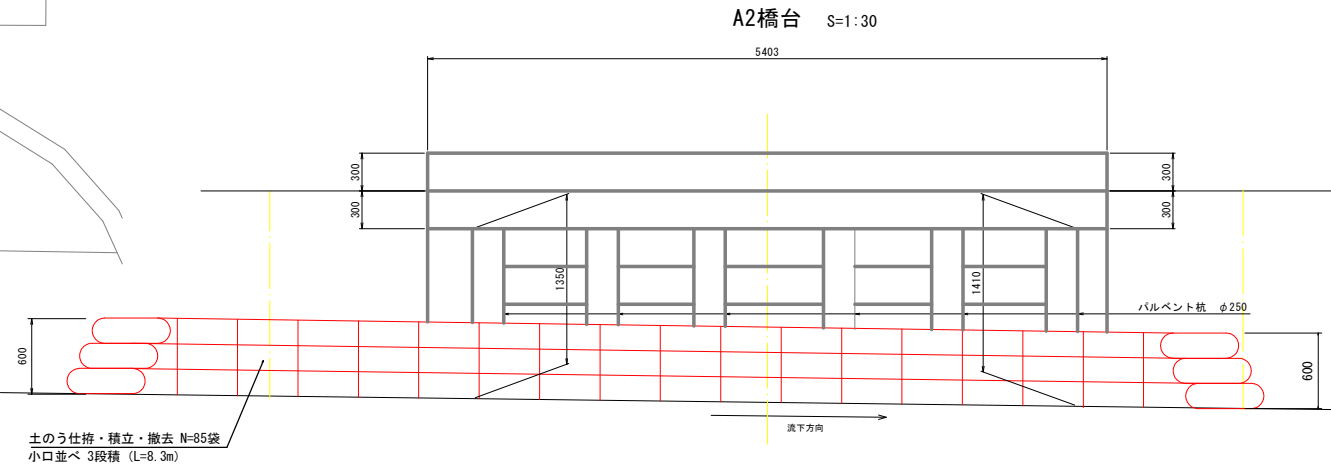
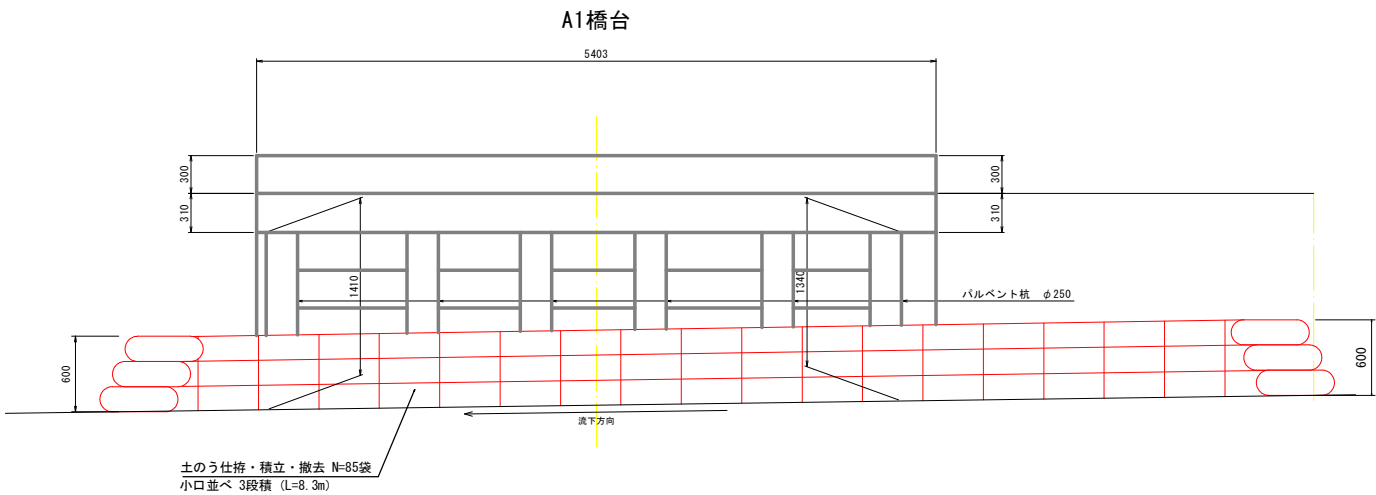
平面図



側面図



正面図



土のう工 数量表

名 称	規 格	単 価	数 量	備 考
土のう仕替・積立・撤去	購入土	袋	85	
土のう移設	積立	袋	17	
残土運搬・処分	人力 土砂	m3	1.7	
廃プラスチック運搬・処分	土のう袋	kg	3.2	

施工年度	令和8年度
工事番号	保補8-1
工 事 名	第三中山橋長寿命化修繕工事
施工箇所	宇治市伊勢田町若林 地内
図面種類	仮設工（土のう工）
縮 尺	S=1:30
図面番号	15 葉之内 15